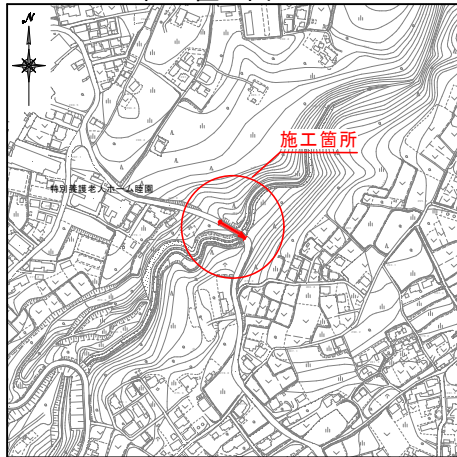


西菰上ノ原線 計画平面図 S=1:200

位置図 S=1:5,000

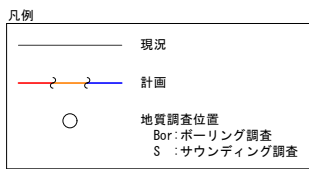
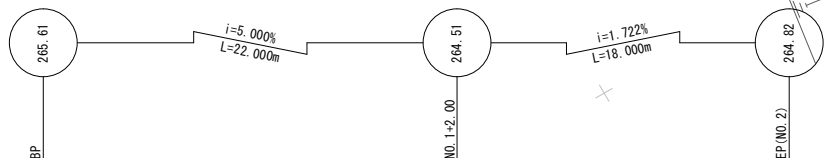
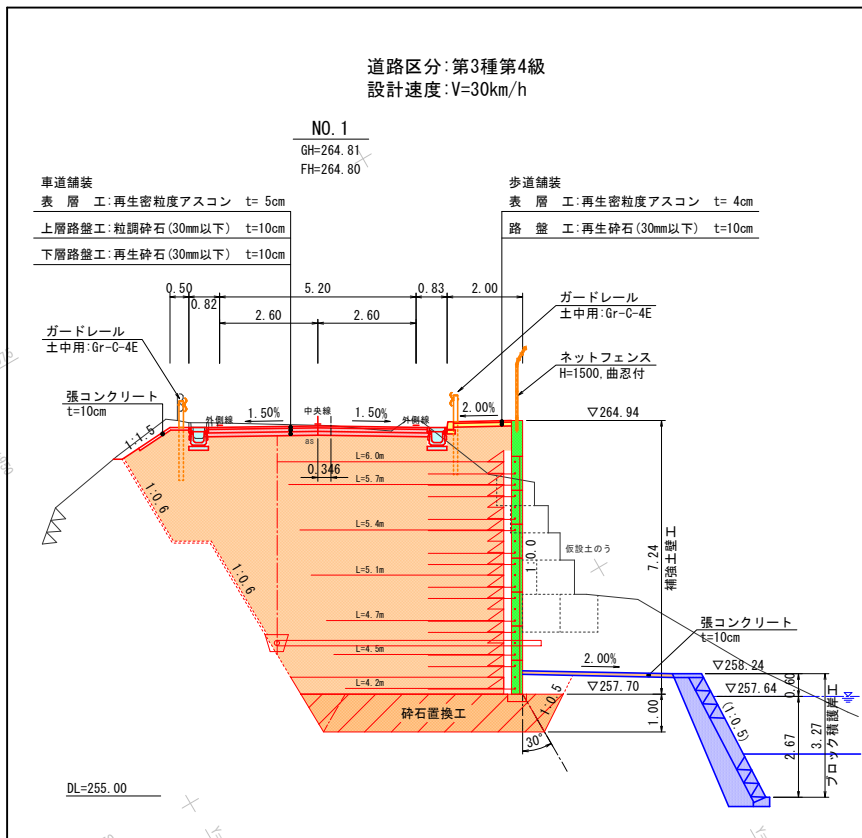


基準点座標 一覧表		
点名称	X座標	Y座標
基準点1	919.513	1042.299
基準点2	866.230	1034.917
T-2B	955.345	1062.578
T-3B	989.216	1018.985

中心線座標 一覧表		
点名称	X座標	Y座標
BP	982.449	1023.858
+2.50	981.022	1025.911
+10.50	976.456	1032.480
No.1	971.033	1040.280
+6.50	967.323	1045.617
+9.50	965.611	1048.081
BC.1	964.040	1050.341
+15.50	961.968	1052.836
No.2	958.461	1055.638

IP座標 一覧表		
点名称	X座標	Y座標
BP	982.449	1023.858
IP.1	954.458	1064.125
IP.2	919.462	1045.729

標準断面図 S=1:100



数量総括表

工種	種別	規格	単位	数量	
				当初	
排水構造物工	落蓋側溝(縦断用)	300×300	m	82.0	
	自由勾配側溝(縦断用)	300×400	m	4.0	
	R型暗渠	600×600	m	5.8	
	1号集水樹	樹穴500×800, グレチンク(T-25)	基	1	
	2号集水樹	樹穴500×800, グレチンク(T-25)	基	1	
	ボックスカルバート工	1400×1700, L=5.0m	式	1	
	縦排水工	L=7.2m, エルボ管2箇所	式	1	
法面工	盛土法面整形		m ²	40.2	
	人工張芝工		m ²	40.2	
補強土壁工	張コンクリート工	t=10cm, A=43.4m ²	式	1	
	補強土壁工	L=38.7m	式	1	
	排水工		式	1	
	基礎工		式	1	
	笠コンクリート工		式	1	
	補強土壁工		式	1	
	砕石置換工		式	1	
擁壁工	現場打ちコンクリート工		式	1	
	排水対策工		式	1	
護岸工	ブロック積工(1:0.5)	L=3.8m	m ²	16.4	
	ブロック積工(1:0.6)	L=5.0m	m ²	24.7	
護床工	消波根固めブロック製作	参考重量 0.45m ³	個	5	
	消波根固めブロック積取り	2.5t以下	個	5	
	消波根固めブロック据付	2.5t以下	個	5	
	連結金具(シャックル)		組	6	
	連結金具(フック)		組	15	
縁石工	割翠石	5~15cm	m ³	1.6	
	吸出し防止材	t=10mm	m ²	6.8	
	歩車道境界ブロック	一般部 片面R	m	44.2	
	歩車道境界ブロック	擁付部 片面R	m	1.0	
	歩車道境界ブロック	歩道乗入部	m	2.7	
舗装工	地先境界ブロック		m	1.7	
	車道表層工	再生密度アスファルト t=50mm	m ²	301.4	
	上層路盤工	粒調砕石30mm以下 t=100mm	m ²	301.4	
	下層路盤工	再生砕石30mm以下 t=100mm	m ²	301.4	
	歩道舗装工	再生密度アスファルト t=40mm	m ²	70.1	
	路盤工	再生砕石30mm以下 t=100mm	m ²	70.1	
	コンクリート舗装工	t=100mm	m ²	15.9	
安全施設工	取付舗装工	t=10cm, A=145.9m ²	式	1	
	張コンクリート工		式	1	
	ガードレール設置工	Gr-C-4E	m	95.8	
	転落防止柵設置工	笠コンクリート部	m	40.0	
区画線工	転落防止柵設置工	基礎ブロック部	m	4.0	
	車止め再利用設置工		基	3.0	
区画線工	区画線設置工	表線 W=15cm	m	100.0	
	区画線設置工	破線 W=15cm	m	26.0	

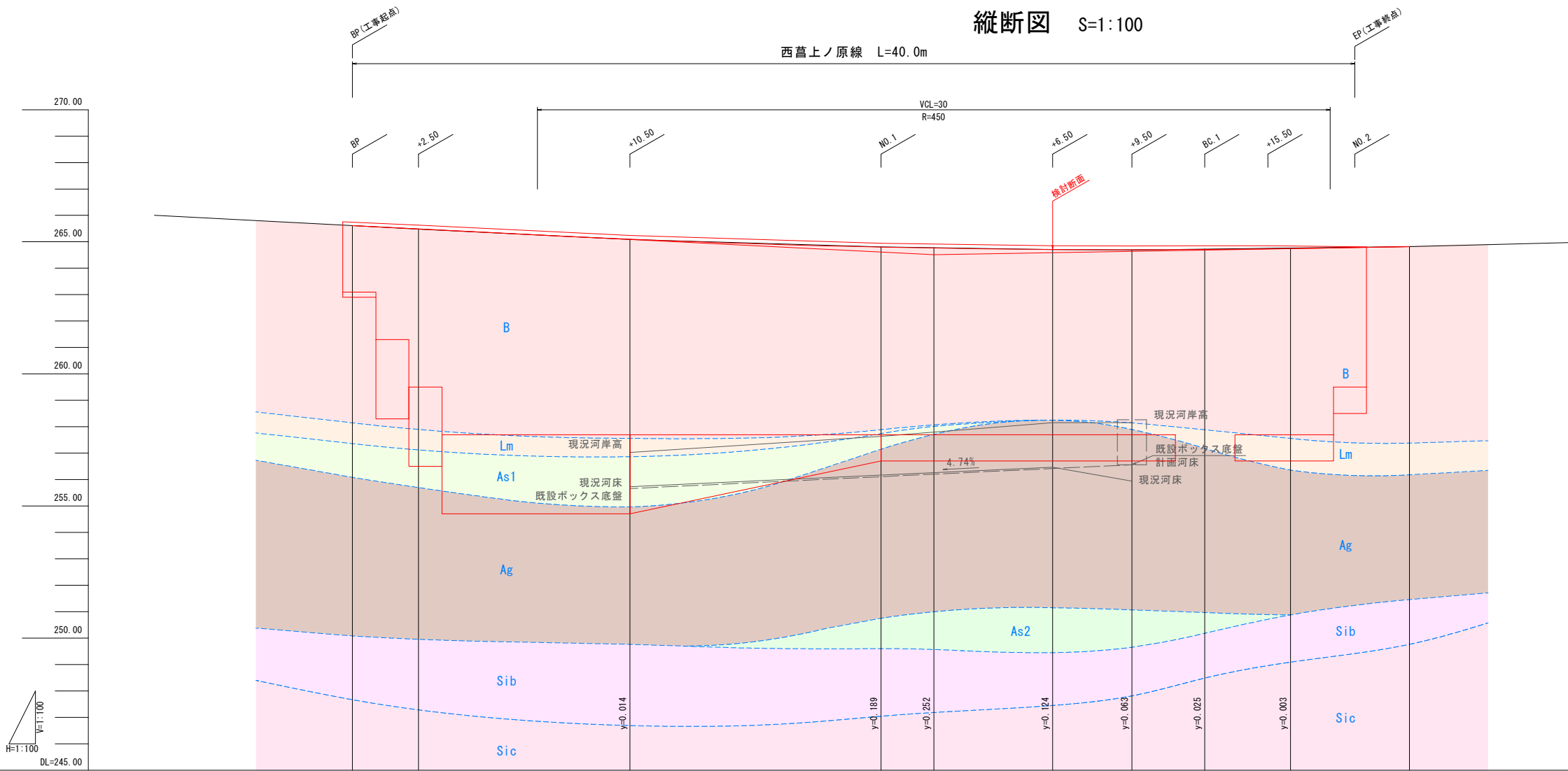
凡例

車道部	歩道部	排水構造物	道路法面部
補強土壁	河川護岸		

工事名	西菰上ノ原線災害復旧工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	計画平面図 S=1:200		
図面番号	全 32 の 1	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

縦断面図 S=1:100

西菰上ノ原線 L=40.0m



地質凡例	
B	盛 土
Lm	ローム
As1	砂質土
Ag	硬質土
As2	砂質土
Sib	中硬質シラス
Sic	硬質シラス

勾 配		
盛 土	0.01	0.01
切 土		0.01 0.02
計 画 高	265.61 265.49	265.10
地 盤 高	265.61 265.48	265.09
追加距離	0.000 2.500	10.500
単 距 離	0.000 2.500	8.000
測 点	BP +2.50 +10.50	NO.1 +2.000 +6.50 +8.50 BC1 +15.50
曲 線	IP:1 IA=82.50-29 R=18.000 TL=16.788 CL=27.499 SL=8.354	
片 勾 配		
拡 幅		

工 事 名	西菰上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	縦断面図 S=1:100		
図面番号	全 32 の 2	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

S=1 : 100



+2.50		連絡路	河川部
築削	人カ	-	-
	片切	-	-
床掘	オーブン	68.2	-
	■	-	-
埋戻	■	-	-
	2.5W	-	-
管敷	■	■<2.5	2.5+4.0 4.0+5.0
	路床	1.8	11.8
土	路床	1.8	-
	その他	敷材	表土 寄土
法面整形	切土	人カ	-
	埋土	人カ	-
法面保護	切土	植草	2.4
	埋土	植草	2.4
法面保護	切土	寄土 枕石	-
	埋土	寄土 枕石	2.4
		車道	路肩 歩道
表層工		-	-
上層路盤		-	-
下層路盤		-	-
舗装工		-	-
植栽費		1.79	-
植栽費 従分		-	-
強コン		-	-



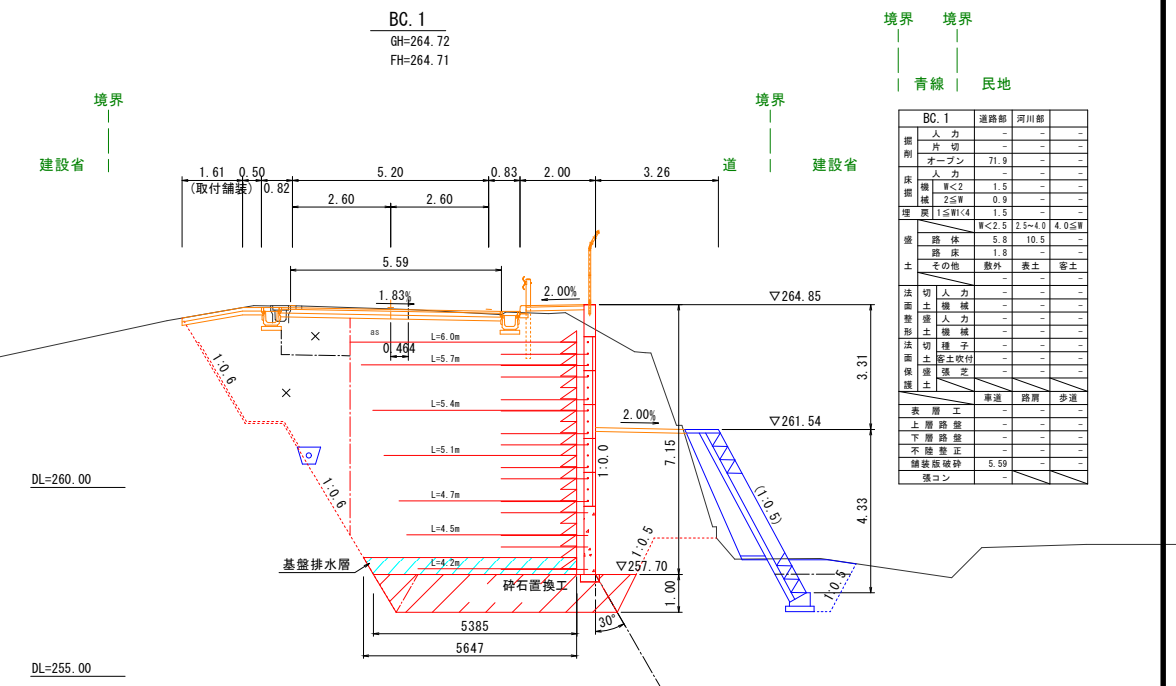
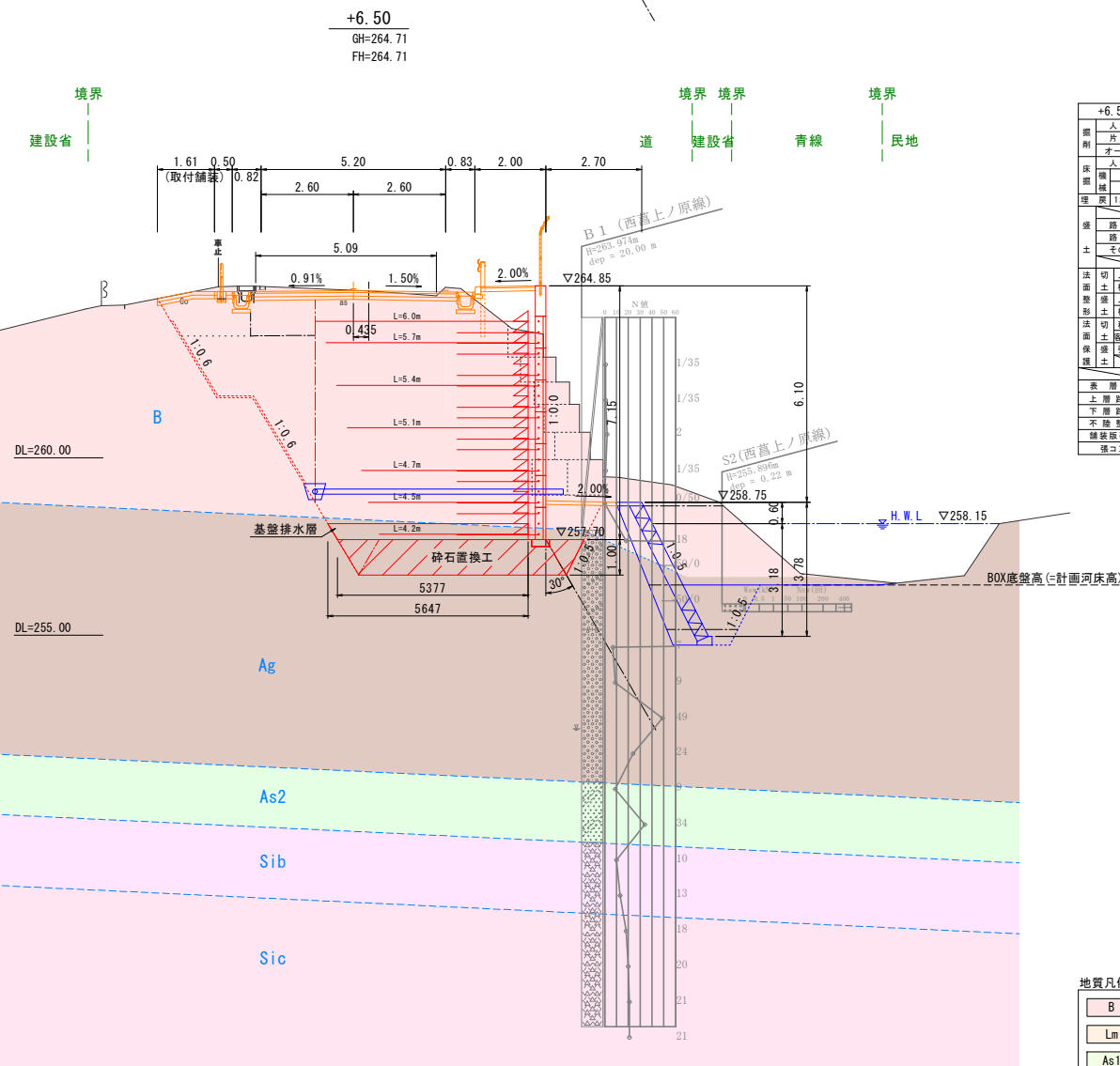
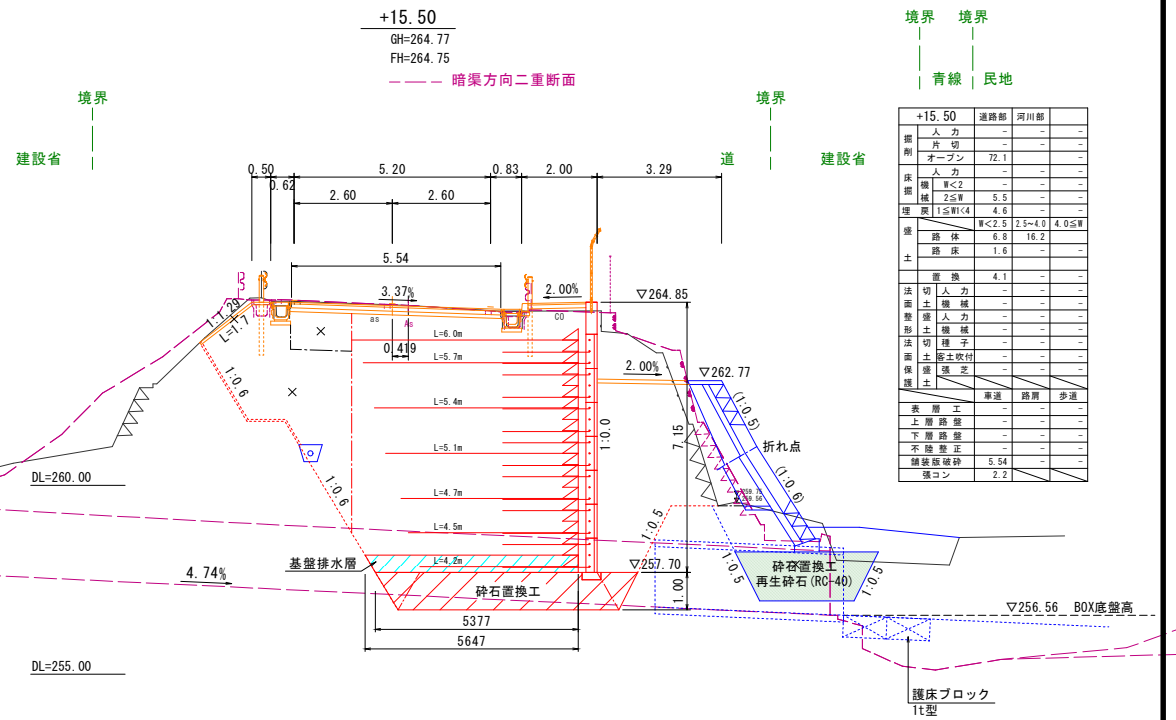
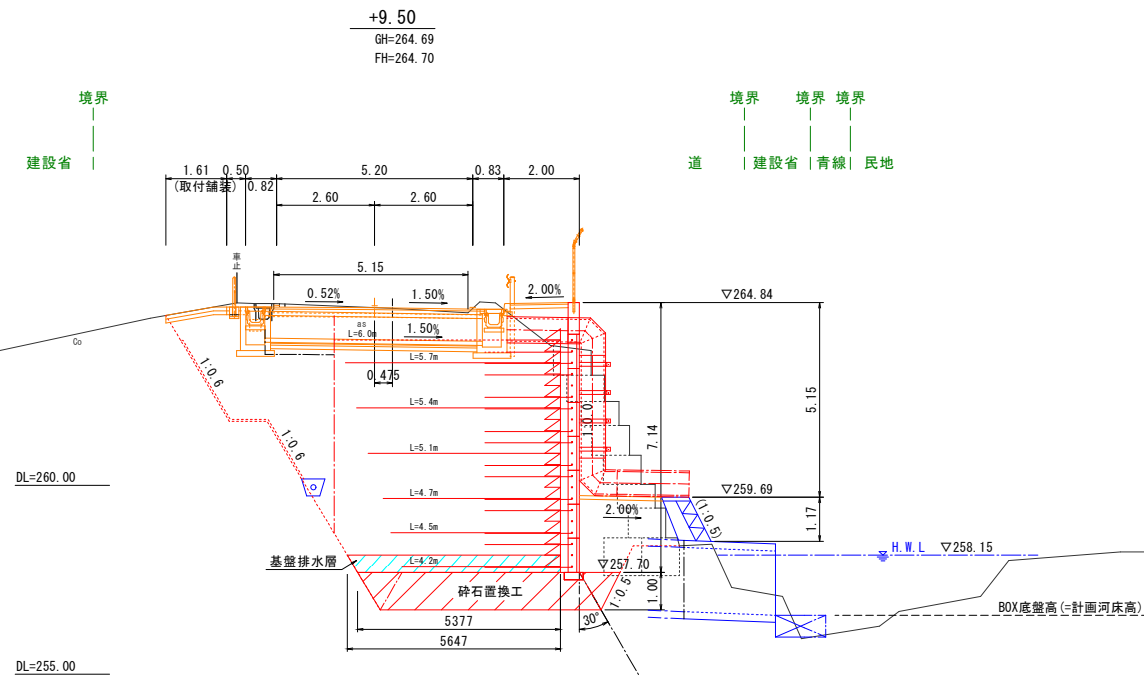
	BP	道路部	岡川郡
資料	人 力	-	-
	片 切	-	-
	オープン	15.6	-
床版	人 力	-	-
	機 械	0.4	-
	2台車	-	-
運 搬	15人以内	0.3	-
	車	≦2.5	1.5～4.0 4.0以上
路 面	路 面	-	-
	路 床	0.9	-
土	その他	敷材	表土 寄土
法面	切 土 人 力	-	-
整形	掘 土 機 械	-	-
	運 送 土 機 械	-	-
	切 土 機 械	-	-
	切 土 土 灰 攪拌	-	-
法面	切 土 人 力	-	-
	機 械	-	-
	運 送	-	-
	歩道	-	-
	車道	-	-
	歩道	-	-
素 留 工	-	-	-
上 層 路 盤	-	-	-
下 層 路 盤	-	-	-
不 能 止 止	-	-	-
鋪 設 後 保 持	-	-	-
強 ン	2.0	-	-

[illegible]

	10.50	道路部	賀川郡	
批判	人 力 片切	--	--	--
土	オーブン	84.2	--	--
床	人 力	--	--	--
床	木 25W	--	--	--
資	集 15引(4)	--	--	--
路	踏 板	0	5-6	4.0 5.0
土	その他	1.8	5	29
		散外	表土	客土
切	人 力	--	--	--
造	機 械	--	--	--
形	掘 機	2.7	--	--
土	埋 入	--	--	--
保	土に土を付	--	--	--
護	境 芝	2.7	--	--
		草道	路肩	歩道
素 型工	--	--	--	--
下層路盤	--	--	--	--
上層路盤	--	--	--	--
不飽和土	--	--	--	--
積層の区分	4.65	--	--	--
コン	1.50	--	--	--

地質凡例	
B	盛土
Lm	ローム
As1	砂質土
Ag	礫質土
As2	砂質土
Sib	中硬質シラス
Sic	硬質シラス

工 事 名	西葛上ノ原被災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業（現年災・道路部）		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	横断面図（その１） S=1:100		
図面番号	全 32 の 3	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

[illegible]

地質凡例	
B	盛土
Lm	ローム
As1	砂質土
Ag	礫質土
As2	砂質土
Sib	中硬質シラス
Sic	硬質シラス

工 事 名	西 草 上 / 原 綿 災 害 復 旧 工 事		
事 業 名	公 共 土 木 施 設 災 害 復 旧 事 業 (現 年 災 ・ 道 路 部)		
工 事 場 所	鹿 児 島 市 吉 野 町		
図 面 種 類	横 断 図 (そ の 2) S=1:100		
図 面 番 号	全 32 の 4	作 成 年 月	令 和 7 年 4 月
鹿 児 島 市 建 設 局 道 路 部 道 路 建 設 課			

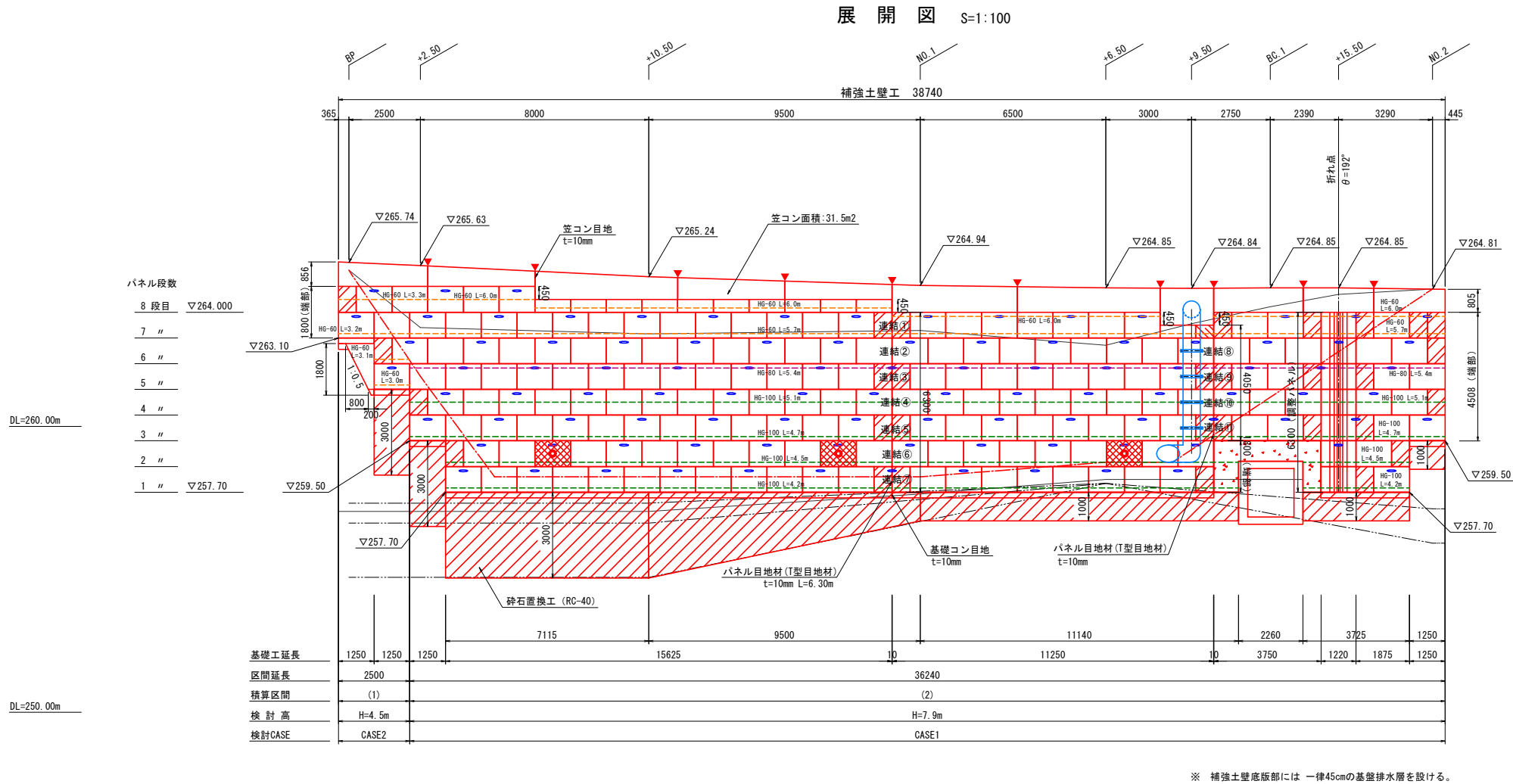
$S=1:100$

[illegible]

地質凡例	
B	盛土
Lm	ローム
As1	砂質土
Ag	礫質土
As2	砂質土
Sib	中硬質シラス
Sic	硬質シラス

工 事 名	西莖上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿儿島市 吉野町		
図面種類	横断図 (その3) S=1:100		
図面番号	全 34 の 5	作成年月	令和7年4月
鹿儿島市 建設局 道路部 道路建設課			

補強土壁工詳細図（その１）



凡 例 (標準)		
<div></div>	壁面材	<div></div> AP-900AR タイプ (W1250×H900)
		<div></div> AP-900AR-M200 タイプ (W1250×H900)
		<div></div> AP-900VH タイプ (W1250×H450)
		<div></div> AP-900WH タイプ (W625×H900)
		<div></div> AP-900SQ タイプ (W625×H450)
		<div></div> AP-900CR タイプ 角度調整用タイプ
<div></div>	排水材	水平排水材 (EF-3: t=4mm, b=300mm)
	補強材	アダム (主補強材)
<div></div>	目地材	笠コン目地

設 計 条 件

盛土材定数	$\gamma=19.0\text{kN/m}^3$ $\phi=30^\circ$ $C=0.0\text{kN/m}^2$	
補強材の摩擦補正係数	$\alpha 1=0.00$, $\alpha 2=1.00$	
載 荷 重	車道部	活荷重 $q = 10\text{kN/m}^2$
	歩道部	活荷重 $q = 3.5\text{kN/m}^2$
設計水平震度 (レベル1地震動, II種, C区分)	内的・外的検討 $K_h = 0.11$ 全体安定検討 $K_h = 0.07$	
円弧すべりに対する安全率	常 時	地震時
	$F_s \geq 1.20$	$F_s \geq 1.00$
引き抜きに対する安全率	$F_s \geq 2.00$	$F_s \geq 1.20$
転倒に対する安全率	$e \leq B/6$	$e \leq B/3$
滑動に対する安全率	$F_s \geq 1.50$	$F_s \geq 1.20$
支持に対する安全率	$F_s \geq 3.00$	$F_s \geq 2.00$

※ 参考文献：「アダムウォール(補強土壁)工法設計・施工マニュアル（平成26年9月）」

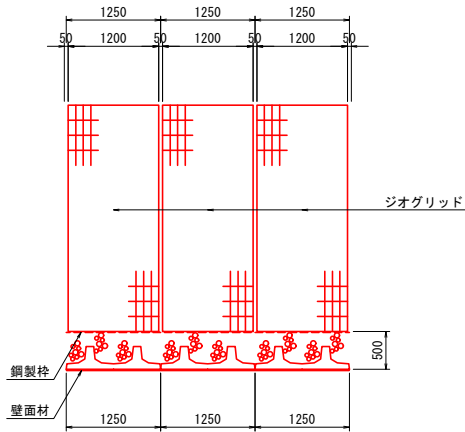
※ 施工前に盛土材の土質試験を実施し設計定数の確認を行なうこと。

必 要 地 耐 力

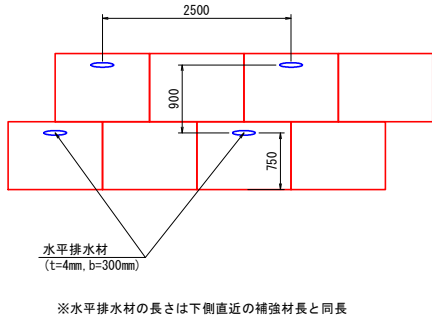
検討ケース	検討高	単位	常時	地震時
CASE1	H=7.9m	kN/m ²	205.00	195.98
CASE2	H=4.5m	"	104.84	99.69

※ 各断面について、上記に示す数値以上の許容支持力度を確保すること。

ジオグリッド標準敷設図 S=1:50

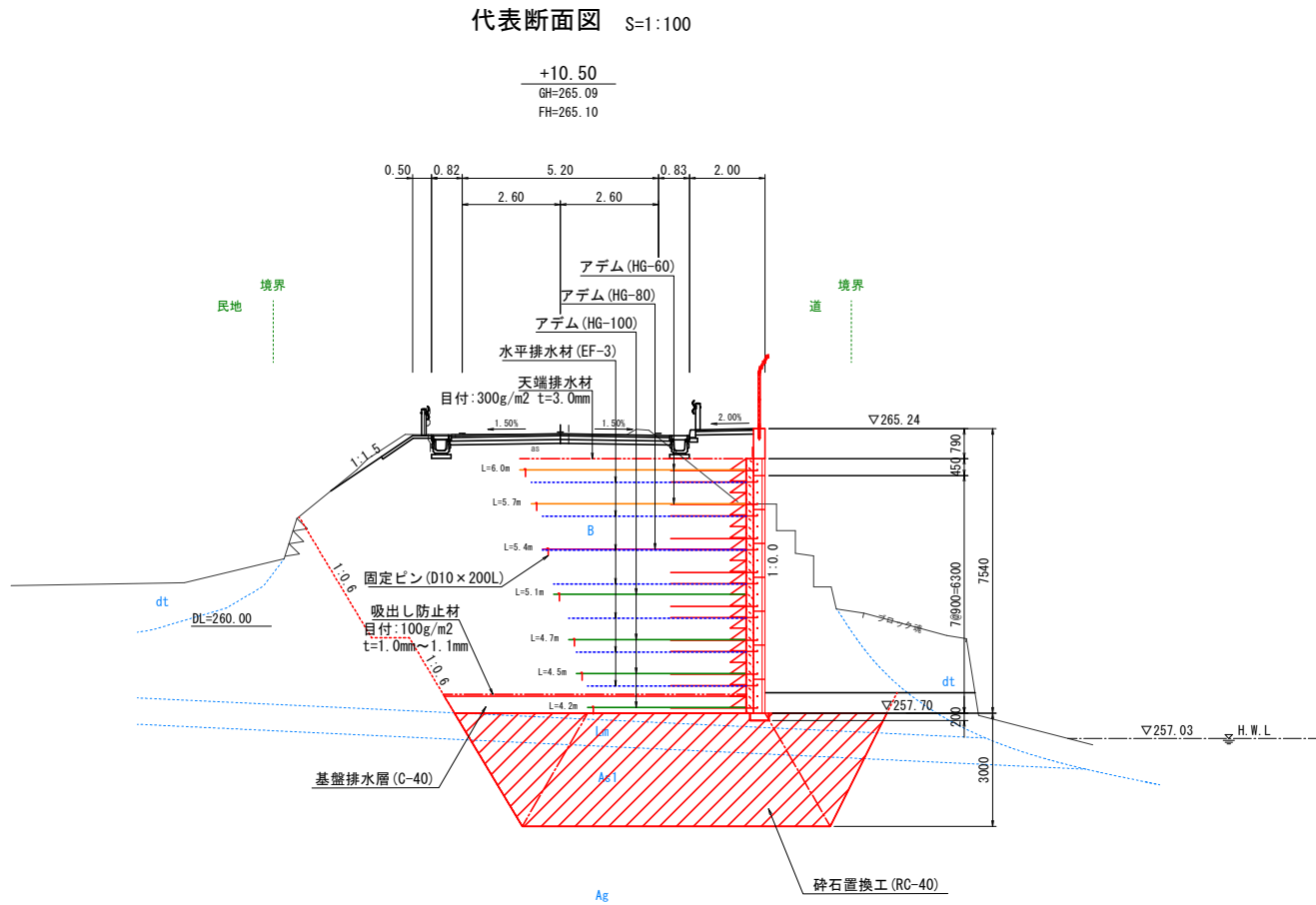


水平排水材標準配置図 S=1:50

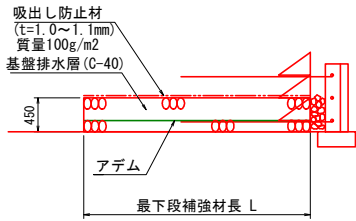


工 事 名	西曽上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工 詳細図(その1) S=図示		
図面番号	全 32 の 6	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

補強土壁工詳細図（その2）

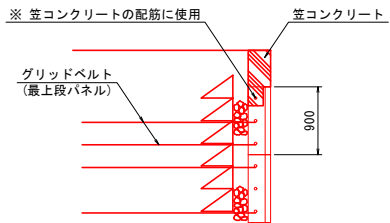


基盤排水層詳細図 S=1:50

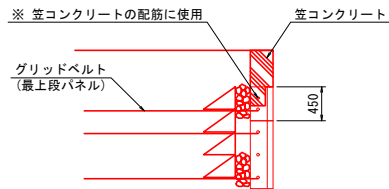


グリッドベルトの取付 S=1:50

最上段パネルH900タイプ



最上段パネルH450タイプ



※笠コンクリートの配筋については「部材詳細図(その9)笠コンクリート工配筋一般図」参照

特記事項

盛土材条件	施工前に盛土材の土質試験を実施し設計定数の確認を行なうこと。 盛土材は、適切な含水比で施工されること。
地盤条件	良好な地盤、または、適切な処置が施された地盤とすること。 床掘り完了後に、所定の支持力を満足するか確認すること。
排水条件	適切な排水処理を施すこと。 施工時に予期せぬ湧水が確認された場合は、速やかに排水対策を行うこと。 施工中は、仮排水工を設けるなど盛土本体かつ壁面部へ水を導かないよう排水処理を行うこと。
壁面材	壁面材は、補強盛土体を長期的に保護できるコンクリート製品を用いること。 壁面材は、設計基準強度30N/mm2以上確保された材料とすること。
補強材	主補強材は、(一財)土木研究センターの技術審査証明制度の認定品とする。 曲線部、折れ部において、隣接する主補強材間の隙間が10cm程度以上となった場合は、同質・同等の材料にて隙間を埋める措置を行うこと。 内曲りとなる施工区間において補強材が重なり合う場合は、ジオテキスタイルが相互に接触しない程度に盛土材料を挟むなどして、摩擦力を確保すること。
安全管理	安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守すること。

施工管理基準値(参考)

適 用	管理項目	規格値	試験基準
盛土の締固め規定	品質規定 現場密度の測定	《締固め度》 1. 最大乾燥密度 ρ_{dmax} の95%以上 (締固め試験JIS A 1210 A, B法) 2. 最大乾燥密度 ρ_{dmax} の90%以上 (締固め試験JIS A 1210 C, D, E法) 2. の場合、標準の施工仕様よりも締固めエネルギーの大きな転圧方法に適用する。 《施工含水比》 最適含水比 W_{opt} と所定の締固め度で得られるの含水比範囲	500m3に1回の割合 ただし、1,500m3未満の工事は 1工事当たり3回以上。

※現場における締固め試験を実施し、施工機械、締固め回数等の仕様を確認すること。
※施工管理基準値は、発注者の定める基準に従う。
特に指定が無い場合、または、発注者の定める基準値が上表と異なる場合は、発注者と協議のうえ管理値を定めること。

出来形管理基準(参考)

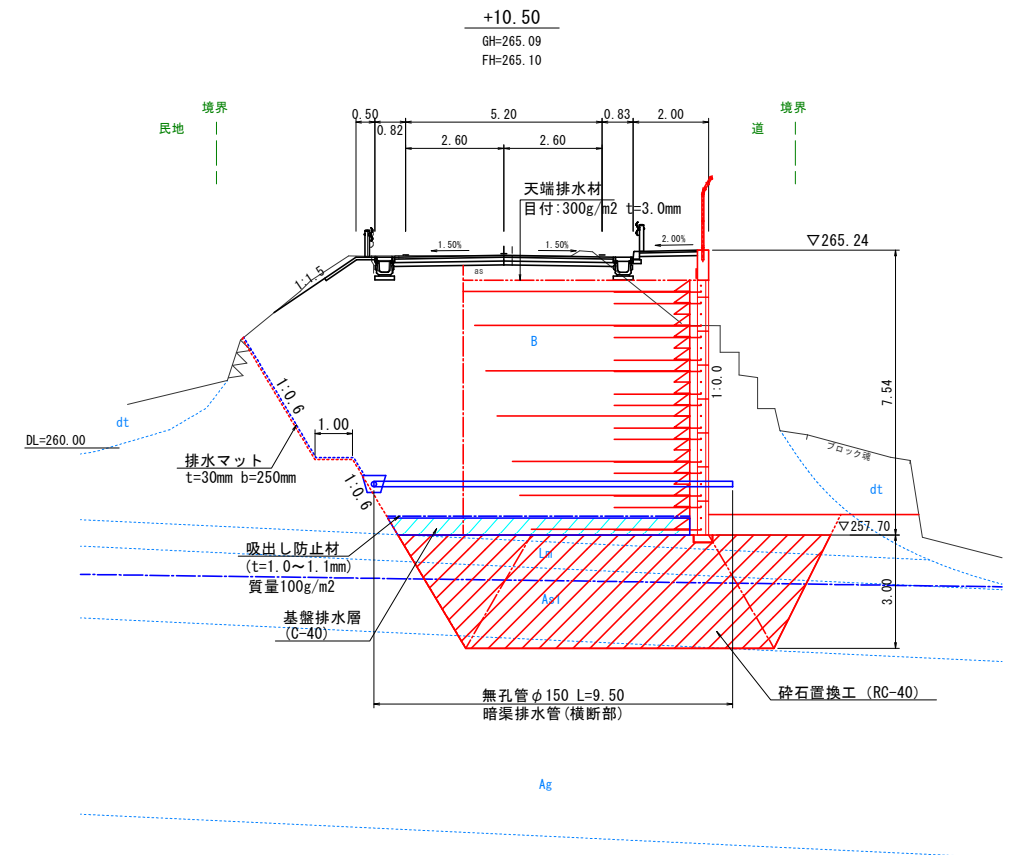
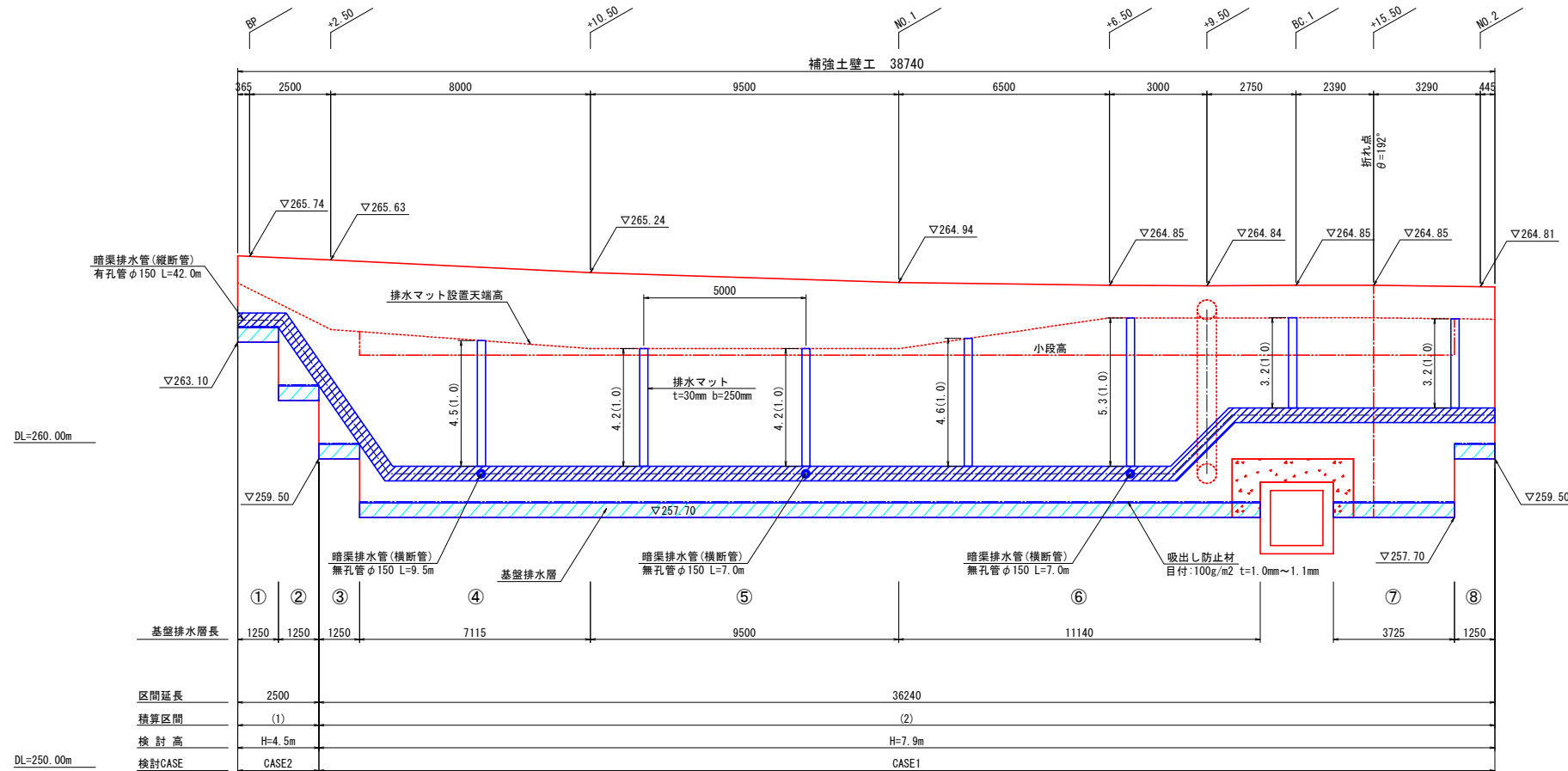
適 用	管理項目	管理基準	頻 度	備 考
基盤工	基準高	±50mm	施工延長40m毎に1箇所 延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所	
外 壁	基準高	±50mm		
	高さ H<3m	±50mm		
	H≥3m	±100mm		
	勾配精度	±0.03Hかつ±300mm以内		
補強材	敷設長さ	-0mm +150mm		
切盛境排水工	幅・高さ	-0mm +50mm		
水 平排水材	敷設長さ	-0mm +150mm		

工 事 名	西首上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工 詳細図(その2) S=図示		
図面番号	全 32 の 7	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

補強土壁工 詳細図 (その3)


排水対策工展開図 S=1:100


代表断面图 S=1:100



※ () 内は小段幅を示す。

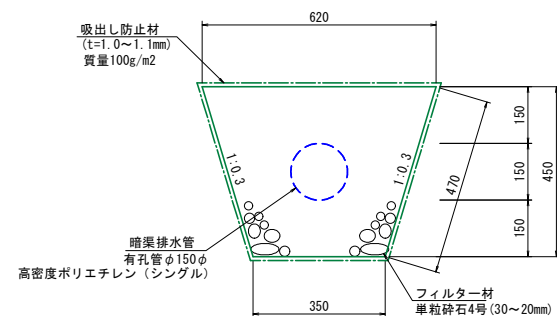
※ 排水マット設置延長は斜長を明示する。

※  フィルター層

※  基盤排水層

暗渠排水管詳細図(縦断) S=1:10

排水計画 平面図 NoScale

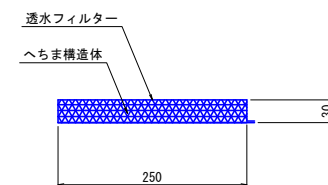
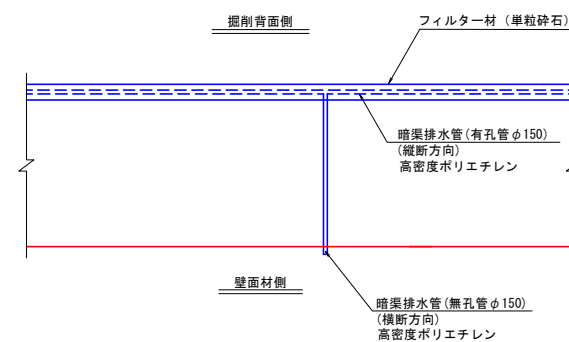


100m当たり		
吸出し防止材	191	m2
砕石	20.1	m3

$A = 0.350 + 0.620 + (0.470 \times 2) \times 100$
 $V = (0.620 + 0.350) \times 0.450 \times 1/2 - (\pi/4 \times 0.150 \times 0.150)$

排水マット詳細図 S=1:5

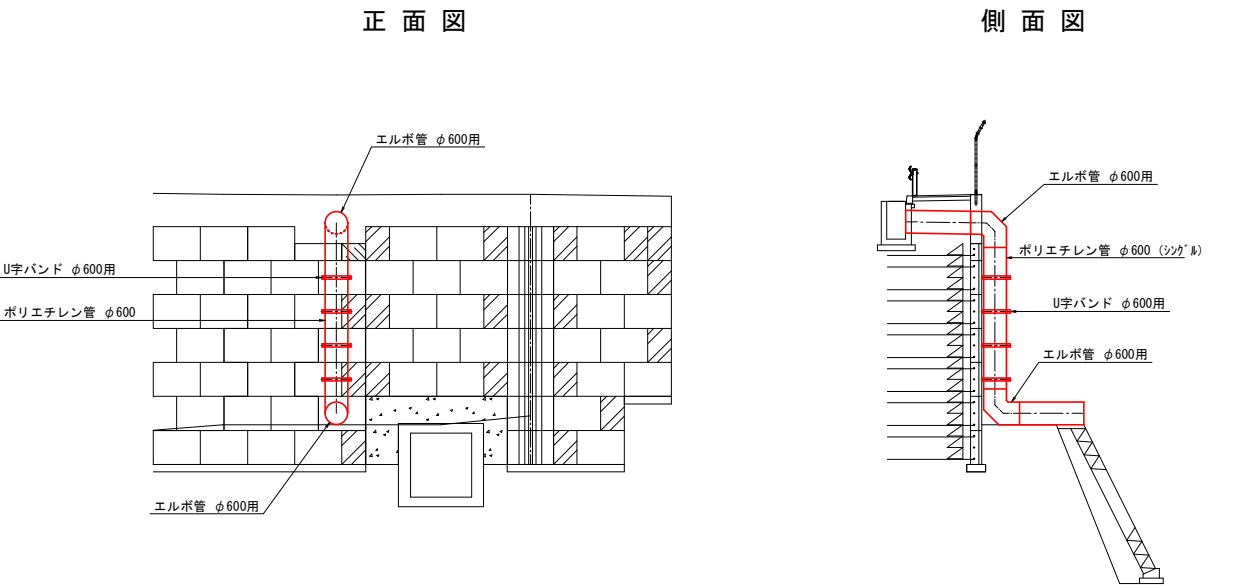
(t=30mm b=250mm)



工 事 名	西宮上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業（現年災・道路部）		
工事場所	鹿兒島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工 詳細図（その３）		S=図示
図面番号	全 32 の 8	作成年月	令和7年4月
鹿兒島市 建設局 道路部 道路建設課			

補強土壁工 詳細図（その４）

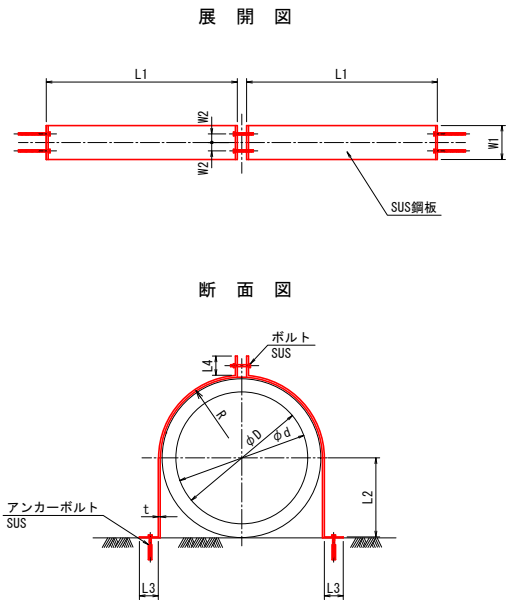
縦排水工一般図 S=1:100



縦排水工 数量表

種 別	規 格	単 位	数 量
ポリエチレン管 (シングル)	φ600	m	7.2
エルボ管	φ600、90°	箇所	2
固定金具	平鋼 t=3 h=100	枚	4
アンカーボルト	M10×100, SUS	本	16

ポリエチレン管固定具 詳細図 S=1:20



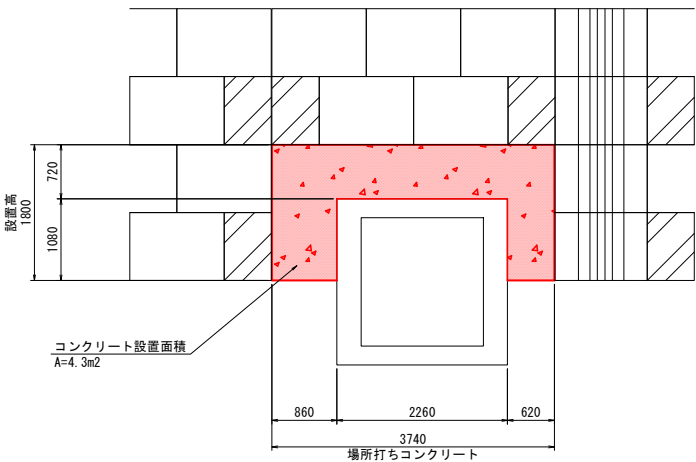
D	d	L1	L2	L3	L4	R	W1	W2	t	ボルト規格
600	692	880	350	100	100	360	100	25	3	M10-100L

工 事 名	西葛上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工 詳細図（その４） S=図示		
図面番号	全 32 の 9	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

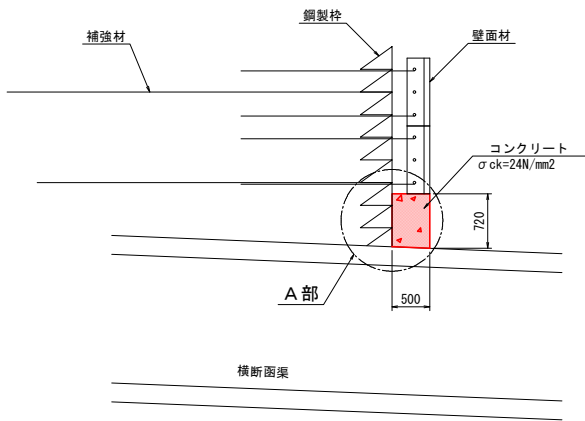
補強土壁工詳細図（その5）

函渠横断部 詳細図
(場所打ちコンクリート)

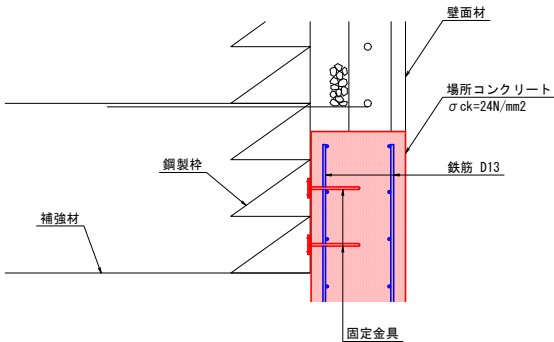
正面図 S=1:50



側面図 S=1:50

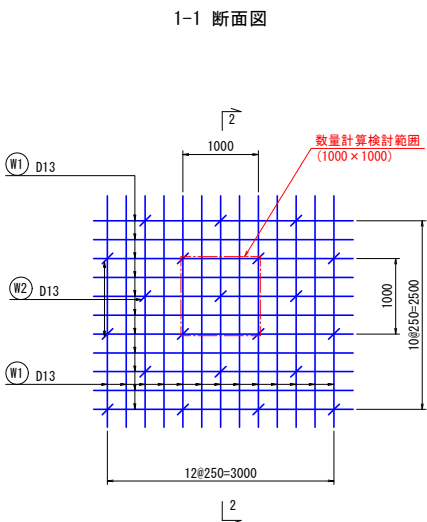


A部詳細図 S=1:20

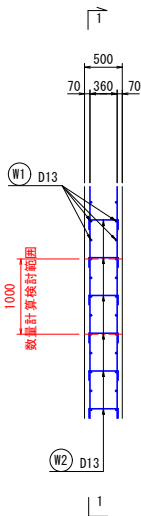


場所打ちコンクリート壁鉄筋数量
(1.0m2 当り)

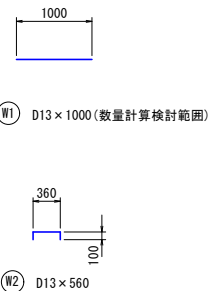
S=1:50



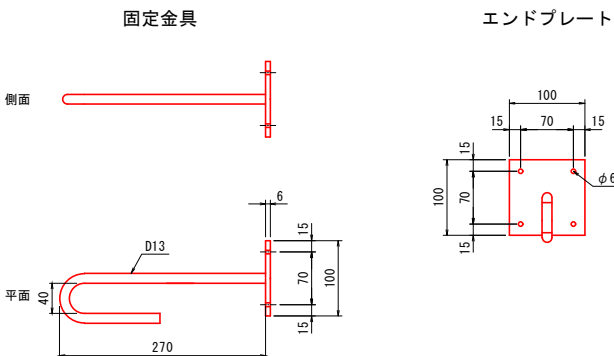
2-2 断面図



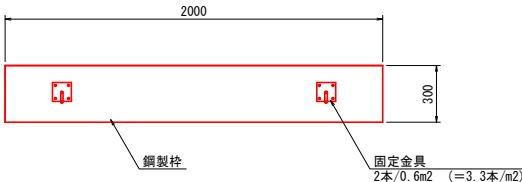
鉄筋加工図



固定金具 詳細図 S=1:5



固定金具取付図 S=1:20



固定金具 数量

$$N = 4.3\text{m}^2 (\text{コンクリート設置面積}) \times 3.3\text{本/m}^2 (1.0\text{m}^2\text{当り設置本数})$$
$$= 14.19 \div 15 \text{ 本 (組)}$$

鉄筋総括表

記号	径	長さ(mm)	本数	単位質量	一本当質量	質量(kg)	摘要
W 1	D 13	1 000	16	0.995	0.995	15.9	
2	"	560	3	"	0.557	1.7	
17.6 kg							
kg							
SD345				D 13	17.6		
kg							
合 計					17.6		

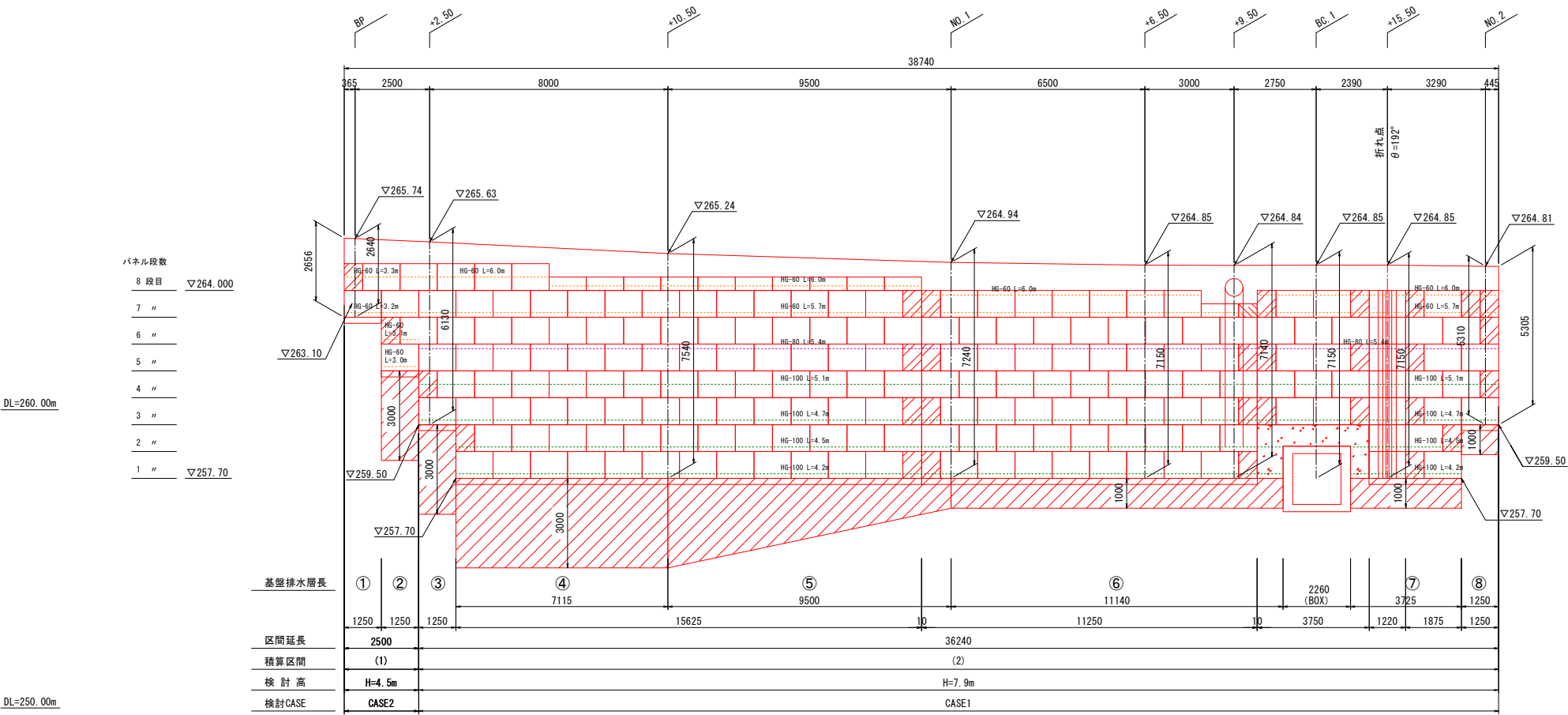
現場打ちコンクリート数量

種 別	規 格	計 算 式	数 量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	$(3.74 \times 1.80 - 2.26 \times 1.08) \times 0.50$	= 2.146	2.1 m3
同上型枠	前面	$3.74 \times 1.80 - 2.26 \times 1.08$	= 4.291	
	背面	$3.74 \times 1.80 - 2.26 \times 1.08$	= 4.291	
	側面	$1.80 \times 0.50 \times 2$	= 1.800	
	合計	$4.291 + 4.291 + 1.800$	= 10.382	10.4 m2
鉄筋	D13	$(17.6/1000) \times 4.3$	= 0.076	0.076 t

工 事 名	西宮上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工詳細図(その5) S=図示		
図面番号	全 32 の 10	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

土工根拠図(その1)

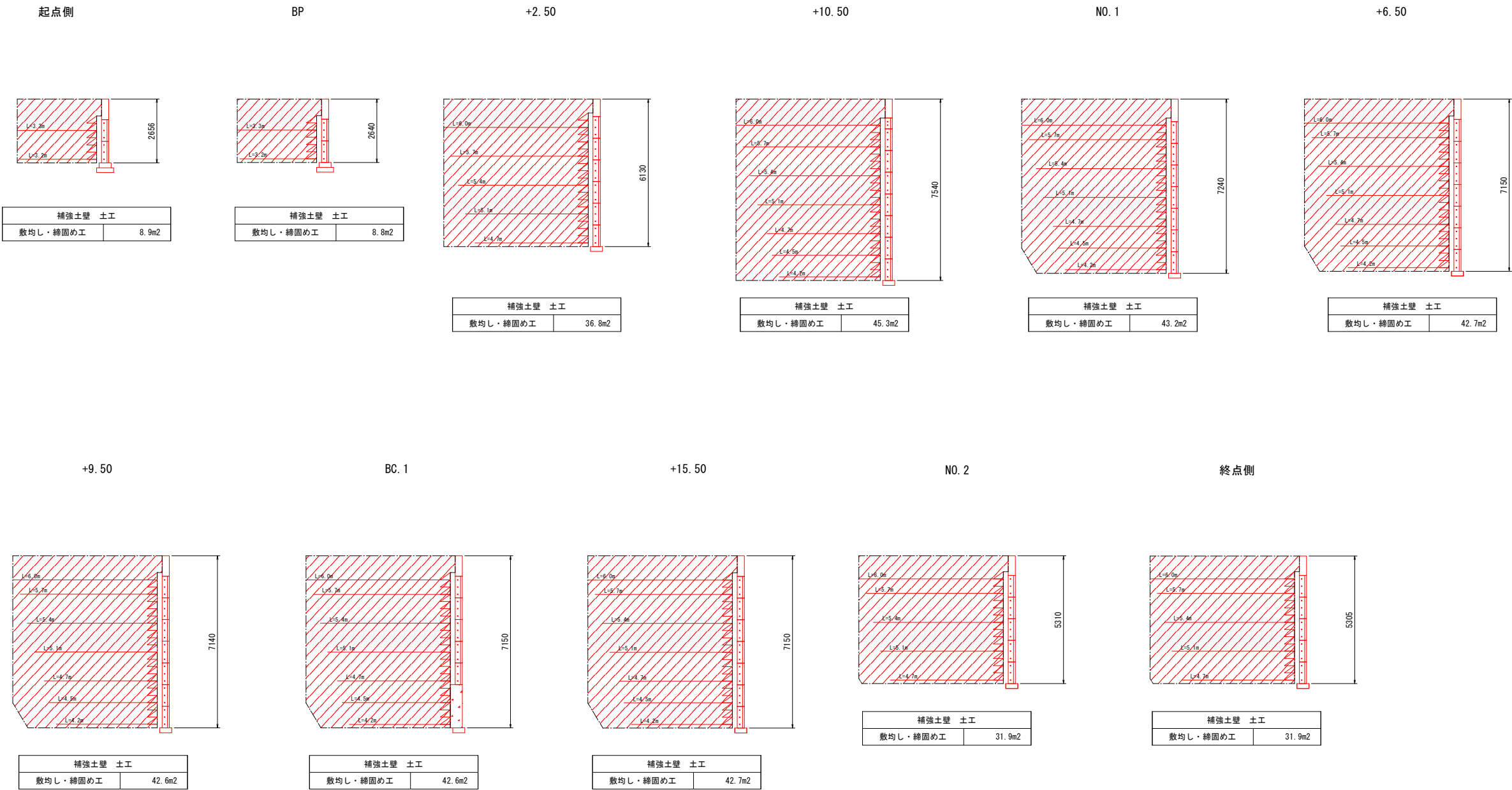
展開図 S=1:100



工 事 名	西葛上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	土工根拠図(その1) S=図示		
図面番号	全 32 の 11	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

土工根拠図(その2)

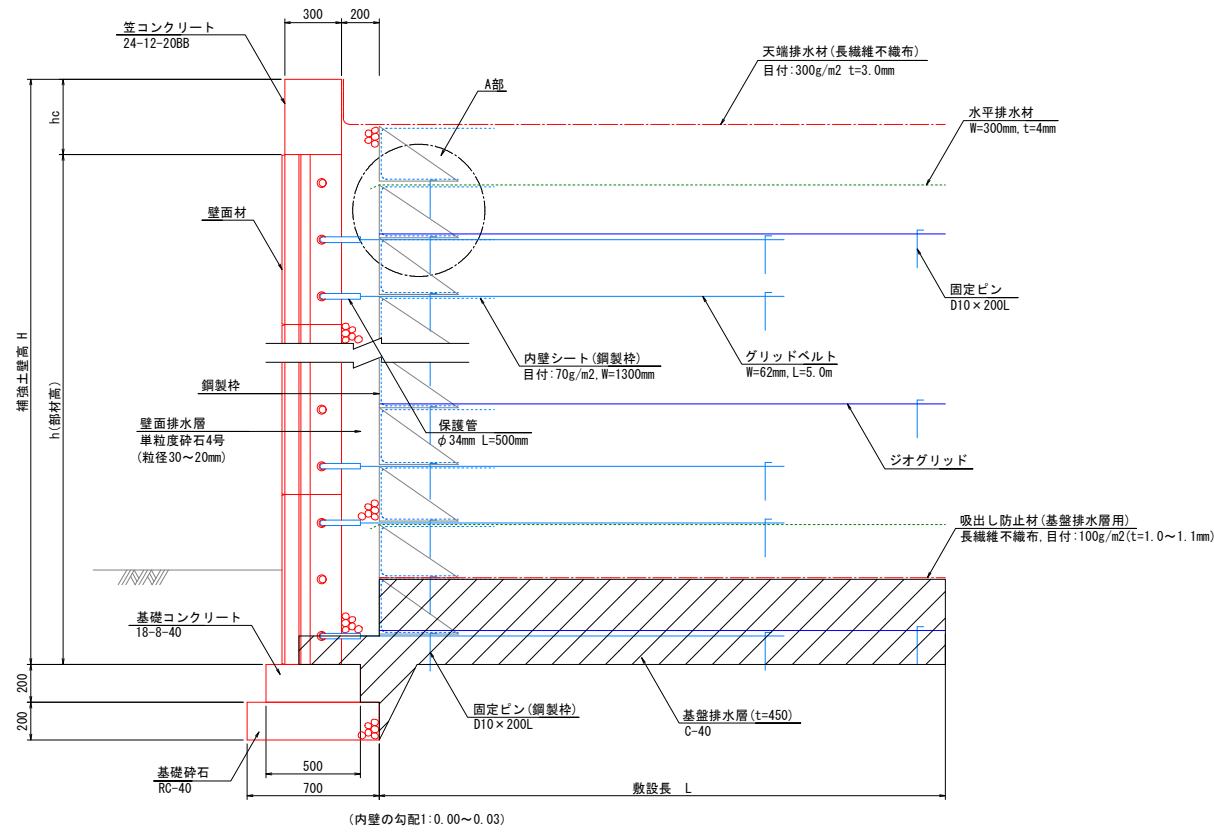
断面図 S=1:100



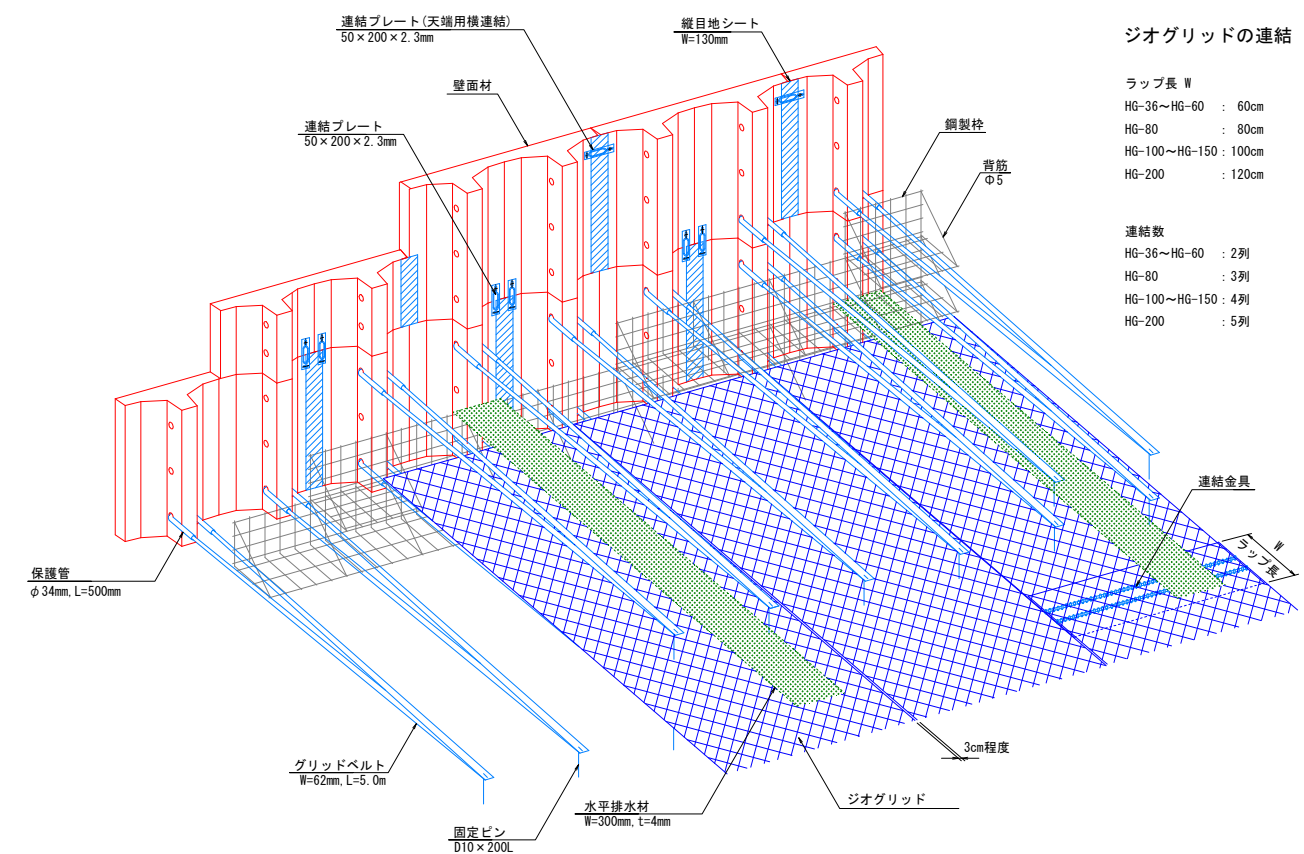
工 事 名	西葛上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	土工根拠図(その2) S=図示		
図面番号	全 32 の 12	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

補強土壁工部材詳細図（その１）

アダムウォール構造図 S=1:20



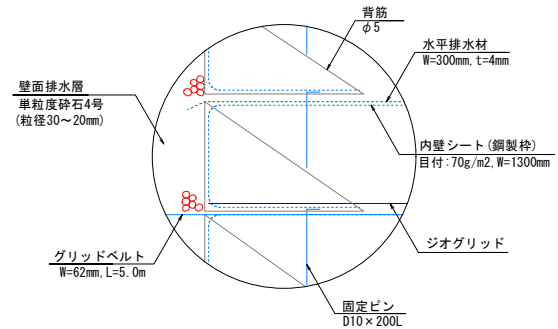
アダムウォール背面形状図



ジオグリッドの連結

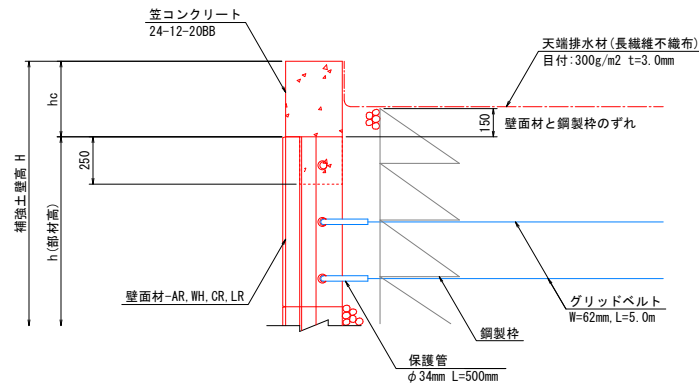
ラップ長 W	
HG-36~HG-60	: 60cm
HG-80	: 80cm
HG-100~HG-150	: 100cm
HG-200	: 120cm
連結数	
HG-36~HG-60	: 2列
HG-80	: 3列
HG-100~HG-150	: 4列
HG-200	: 5列

A部詳細図

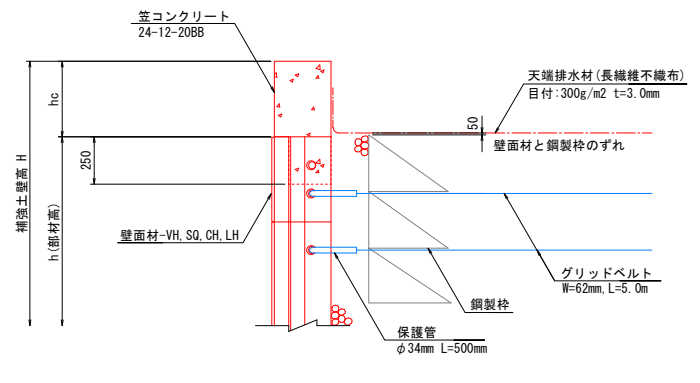


グリッドベルト取り合い(笠コン有筋)
壁面材最上段部

壁面材-AR, WH, CR, LRが最上段の場合



壁面材-VH, SQ, CH, LHが最上段の場合

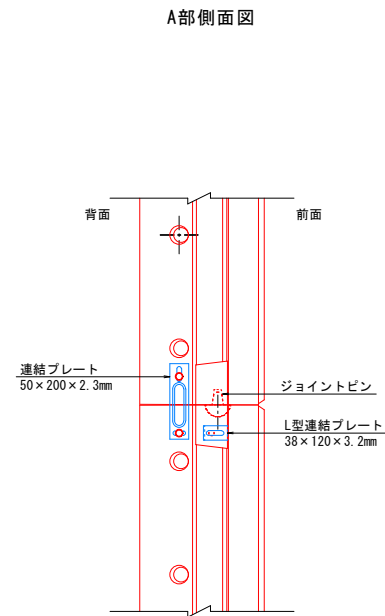


※ 最上段部が壁面材-AR, WH, CR, LRの場合には、グリッドベルトを最上部の穴ではなく、一段下（中央）の穴に取り付ける。

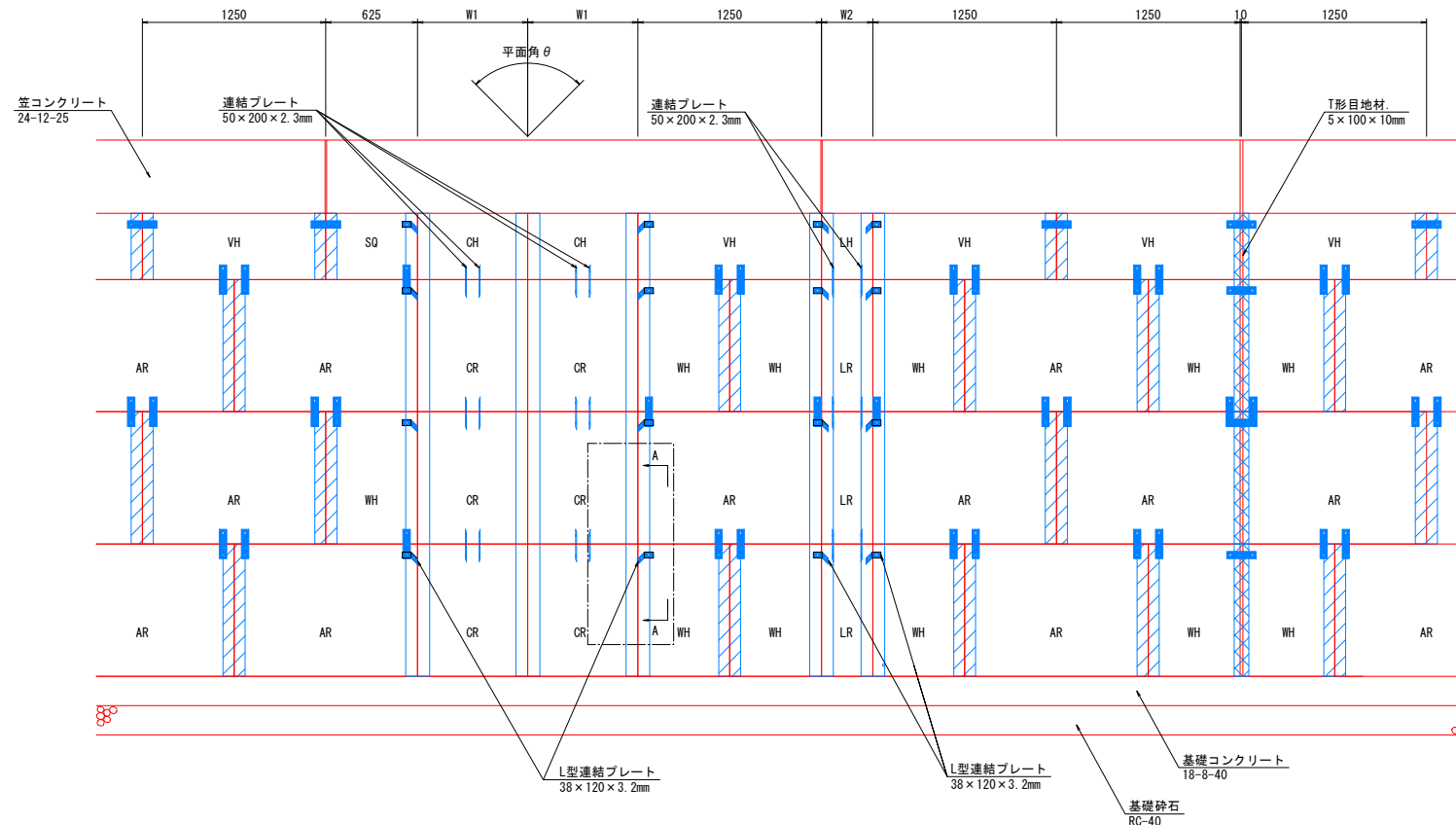
工事名	西首上ノ原線災害復旧工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業（現年災・道路部）		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工部材詳細図（その１） S=図示		
図面番号	全 32 の 13	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

補強土壁工部材詳細図（その２）

調整パネル連結詳細図 S=1:10








壁面材背面図例 S=1:25



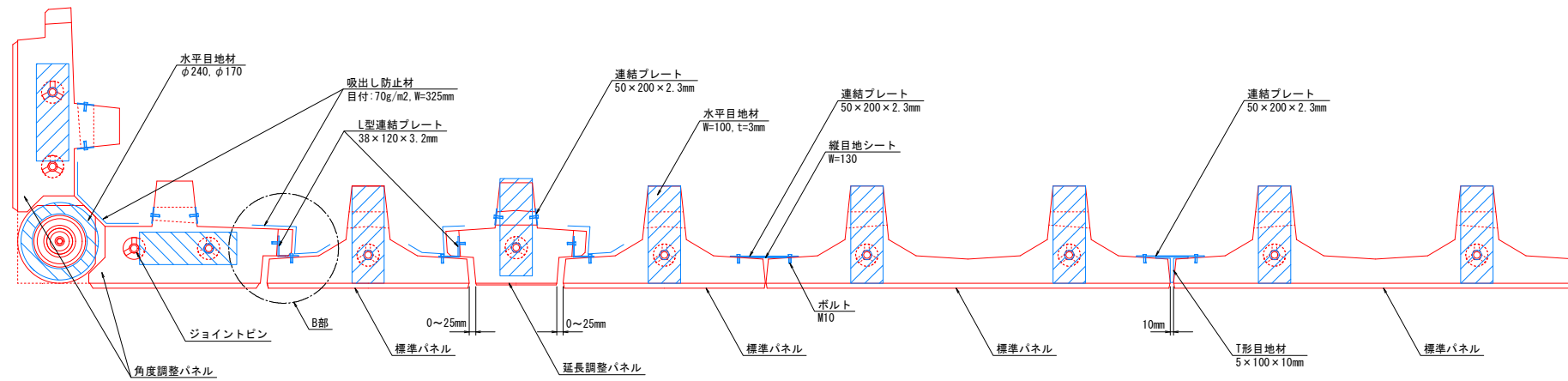
壁面材		単位 : mm
壁面タイプ	寸 法	備 考
壁面材-AR	1250×900	標準パネル
壁面材-VH	1250×450	標準パネル
壁面材-WH	625×900	標準パネル
壁面材-SQ	625×450	標準パネル
壁面材-CR	W1 × 900	角度調整パネル
壁面材-CH	W1 × 450	角度調整パネル
壁面材-LR	W2 × 900	延長調整パネル
壁面材-LH	W2 × 450	延長調整パネル

凡 例

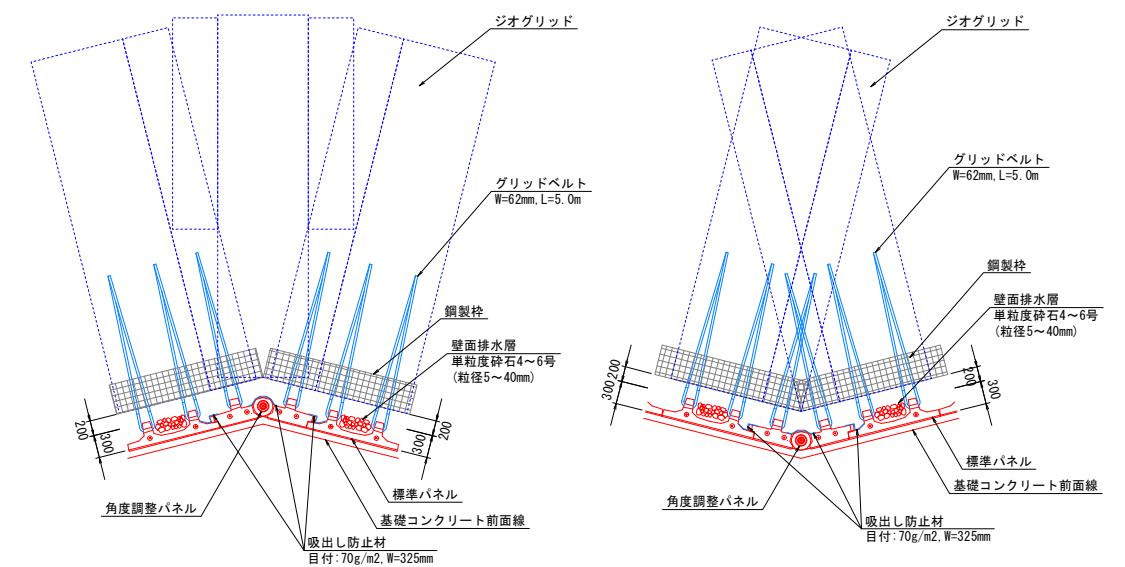
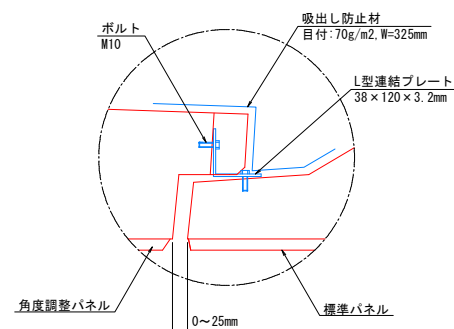
記号	名 称	設置箇所
	連結プレート	全壁面パネル
	L型連結プレート	角度調整パネル・延長調整パネル
	縦目地シート (w130×h910)	下記除く標準パネル間
	吸出し防止材 (w325程度)	角度調整パネル・延長調整パネル
	T形目地材	標準パネル目地箇所

コナナ詳細図 S=1:50

水平目地材配置図 S=1:10



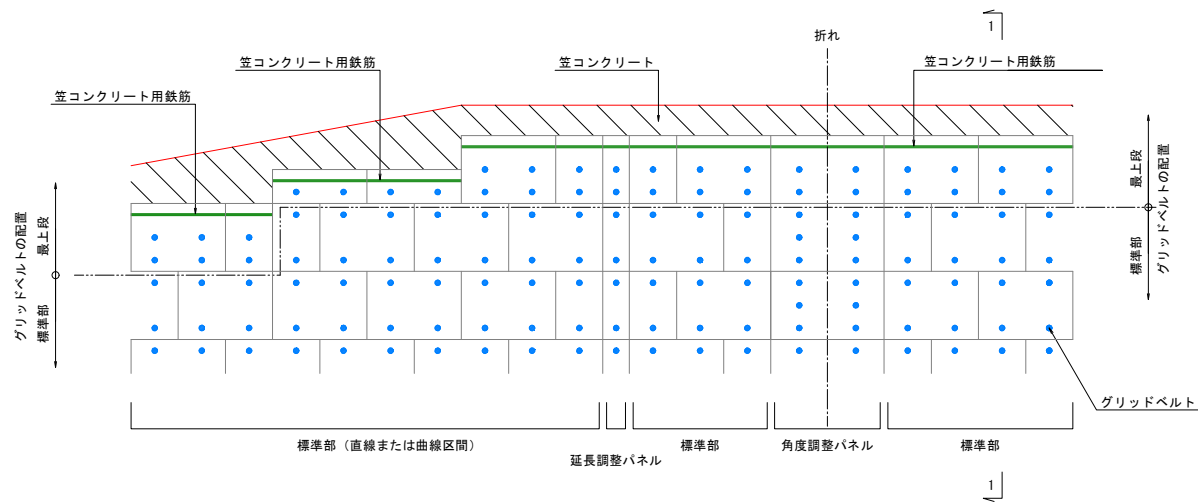
B部詳細図 S=1:5



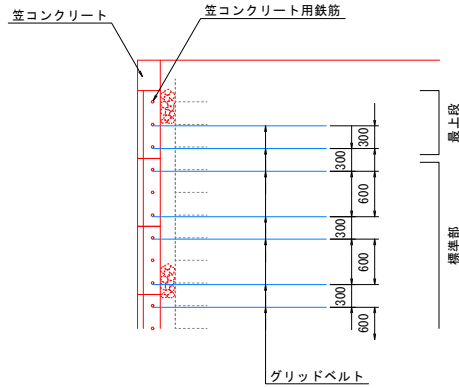
工 事 名	西宮上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業（現年災・道路部）		
工事場所	鹿兒島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工部材詳細図（その２） S=図示		
図面番号	全 32 の 14	作成年月	令和7年4月
鹿兒島市 建設局 道路部 道路建設課			

補強土壁工部材詳細図（その3）

配置図 S=1:50

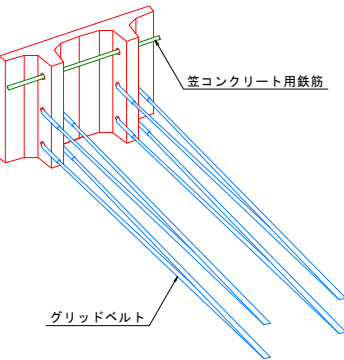


1-1断面 S=1:50

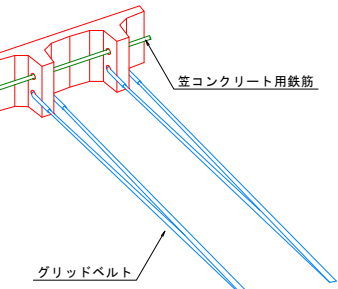


グリッドベルト
最上段部

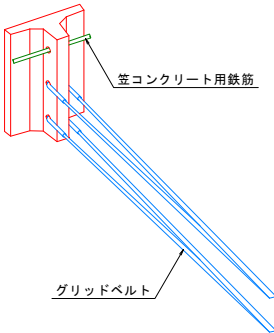
壁面材-AR
グリッドベルト 4set



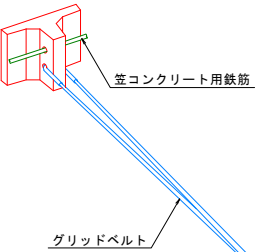
壁面材-VH
グリッドベルト 2set



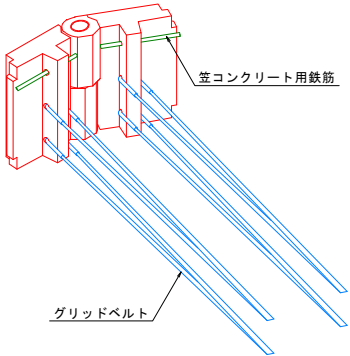
壁面材-WH
グリッドベルト 2set



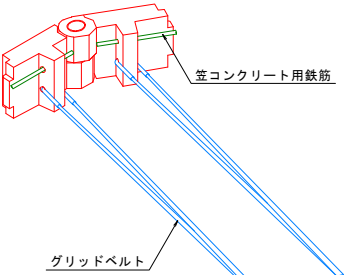
壁面材-SQ
グリッドベルト 1set



壁面材-CR
グリッドベルト 4set



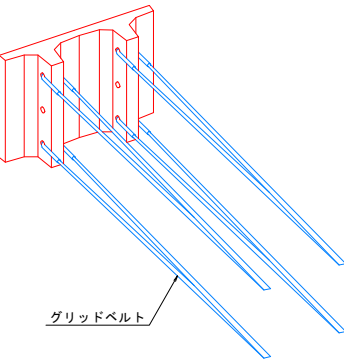
壁面材-CH
グリッドベルト 2set



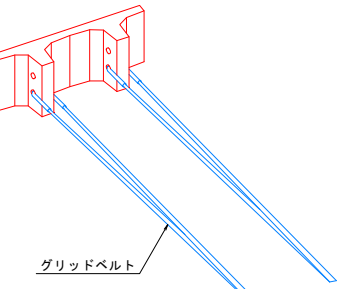
※ 最上段部が壁面材-AR, WH, LRの場合には、グリッドベルトを最上部の穴ではなく、一段下（中央）の穴に取り付ける。

グリッドベルト
標準部

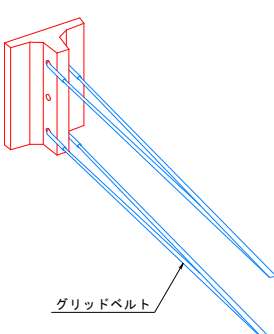
壁面材-AR
グリッドベルト 4set



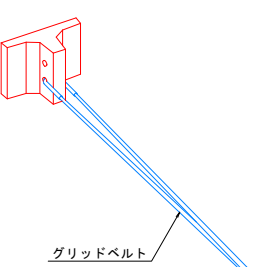
壁面材-VH
グリッドベルト 2set



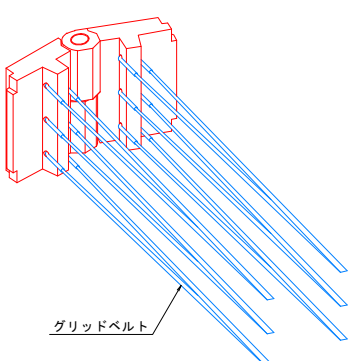
壁面材-WH
グリッドベルト 2set



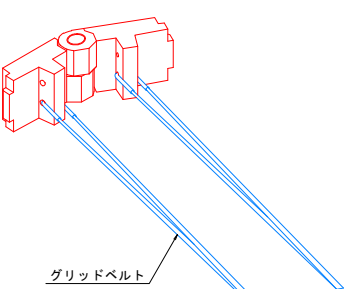
壁面材-SQ
グリッドベルト 1set



壁面材-CR
グリッドベルト 6set



壁面材-CH
グリッドベルト 2set

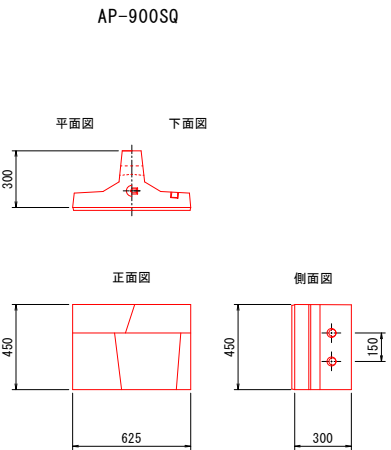
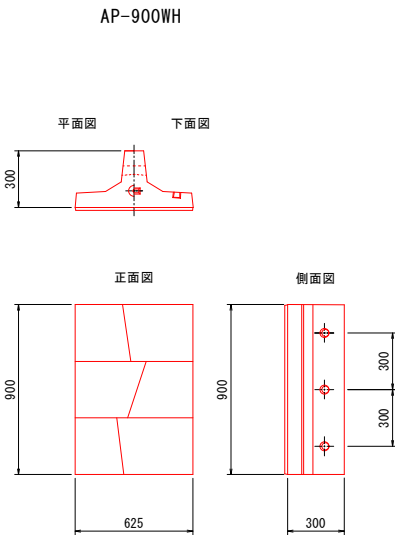
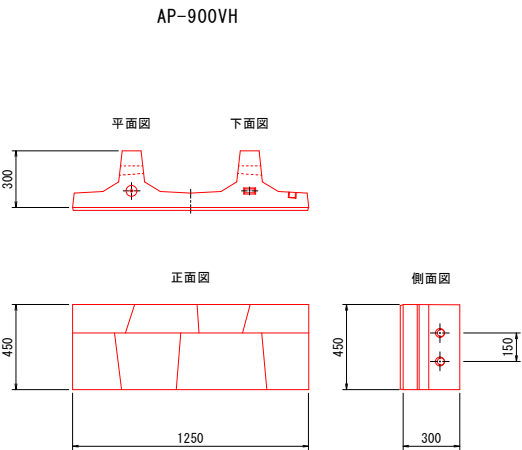
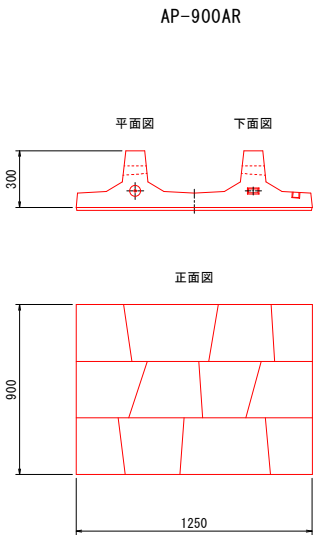


工 事 名	西宮上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工部材詳細図（その3） S=図示		
図面番号	全 32 の 15	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

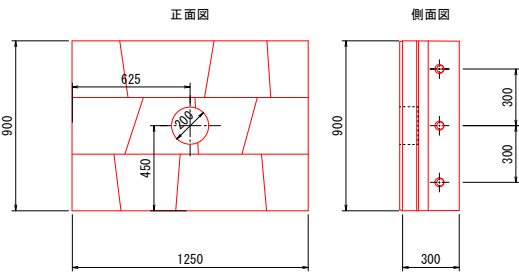
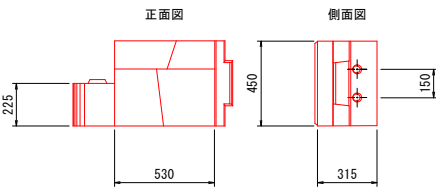
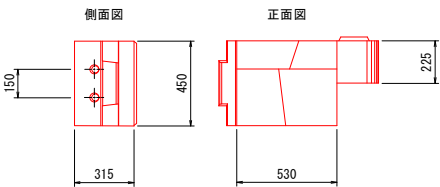
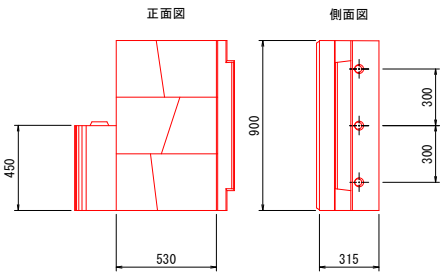
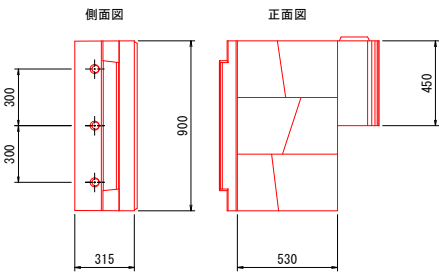
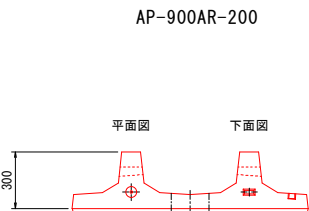
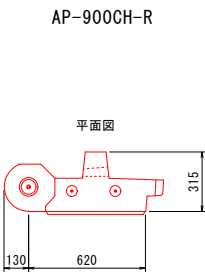
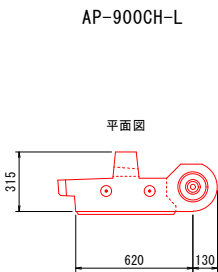
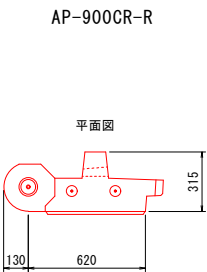
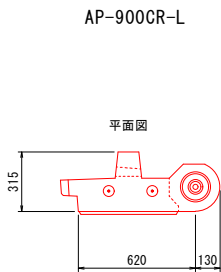
補強土壁工部材詳細図(その4)

壁 面 材 S=1:20

標準パネル



角度調整パネル



穴あきパネル

工 事 名	西葛上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工部材詳細図(その4) S=図示		
図面番号	全 32 の 16	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

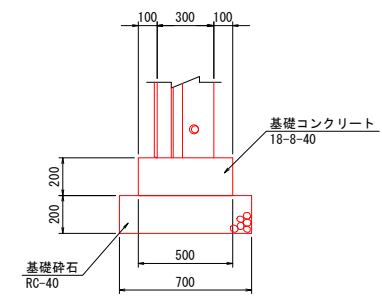
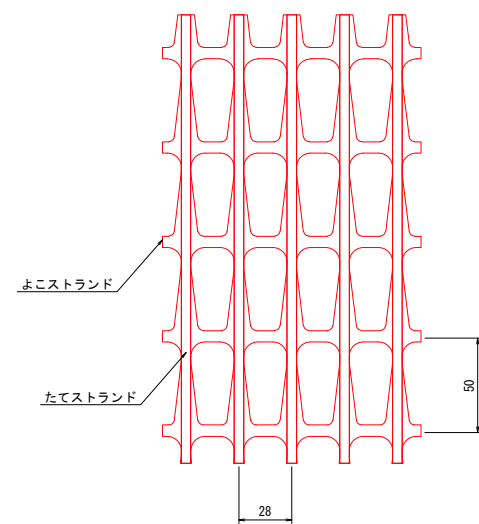
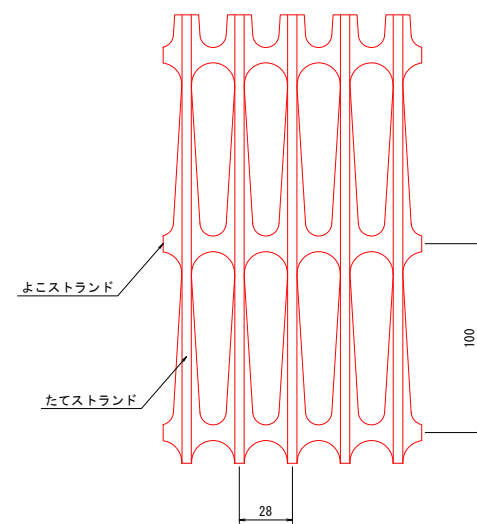
補強土壁工部材詳細図（その5）

ジオグリッド S=1:2

基礎工 S=1:20

HG-36～HG-80

HG-100～HG-200



※ 財）土木研究センター 建設技術審査証明書を有するジオグリッドとする。

笠コンクリート(有筋) S=1:20

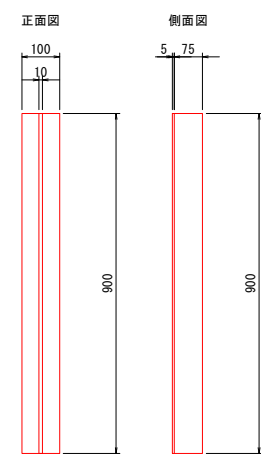
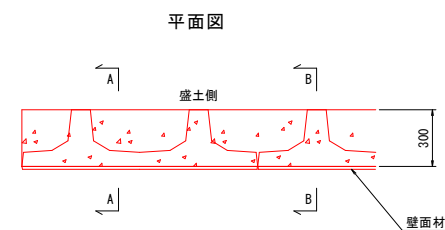
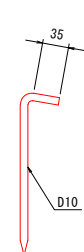
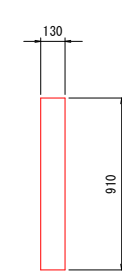
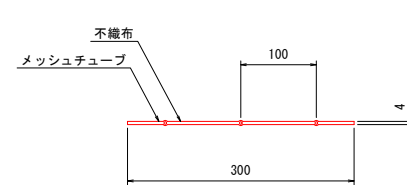
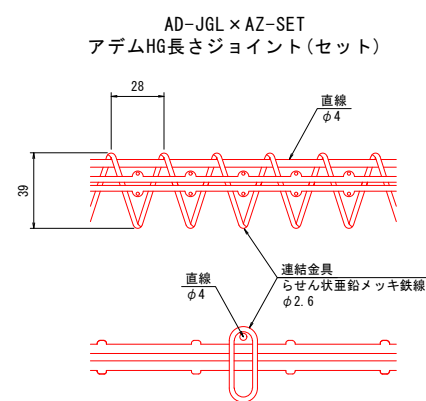
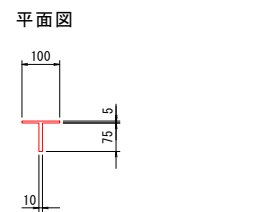
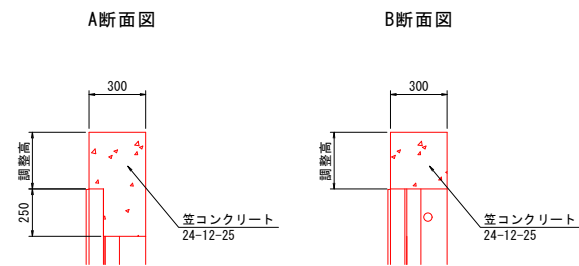
T形目地材 S=1:10

接続部詳細図 S=1:2

水平排水材 S=1:5

縦目地シート S=1:20

固定ピン S=1:5



工事名	西葛上ノ原線災害復旧工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工部材詳細図（その5） S=図示		
図面番号	全 32 の 17	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

補強土壁工部材詳細図（その6）

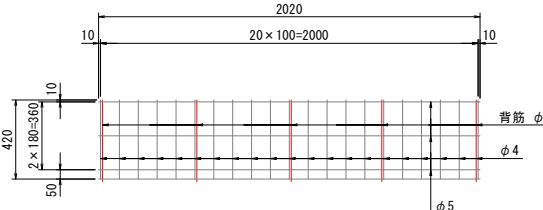
鋼製枠セット

AP-K20 × 04-03-5-XA-SET

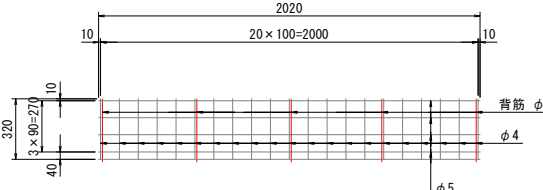
鋼製樁 S=1:20

AP-K20 × 04-03-5

平面図



正面圖

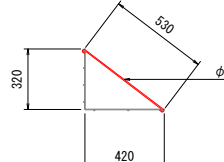


固定ピン $S=1:5$

AD-D10 × 200

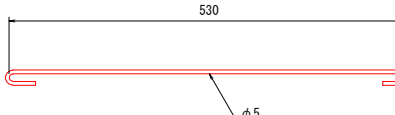


側面



背筋 S=1:5

AP-HAIKIN5

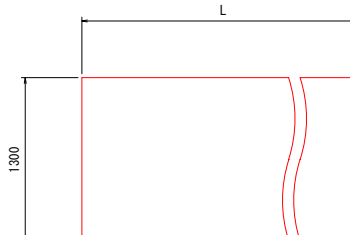


鋼製棒セット

銅製棒	AP-K20×04-03-5	1基
スパンボンド	XA-5201-B	2.65m2
固定ピン	AD-D10×200	2本
ボルト	AD-HA1K1N5	5本

吸出し防止材 S=1:30

スパンボンドXA-5201-B



參考質量 70g/m²

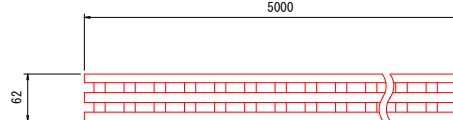
引張強さ たて 60N/5cm以上
よこ 40N/5cm以上

保護管付きグリッドベルトセット

AP-GB-HOGOKAN-SET

グリッドベルト S=1:5

AB-GB11-5M



保護管

S=1 :

AB-HOGOKAM



固定ピン $S=1:5$

AD-D10 × 200



保護管付きグリッドベルトセット

グリッドベルト	AB-GB11-5M	1本
保護管	AB-HOGOKAN	1本
固定ピン	AD-D10×200	1本

工 事 名	西普上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工部材詳細図(その6) S=図示		
図面番号	全 32 の 18	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

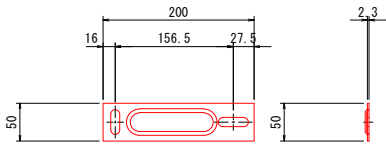
補強土壁工部材詳細図（その7）

角度調整パネル部材セット

AB-BUZA1-900-P

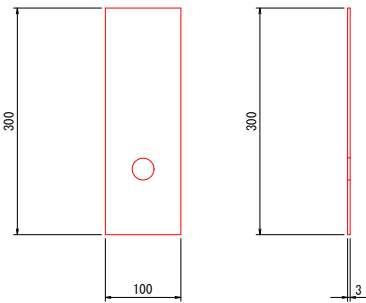
連結プレート S=1:5

AB-PLATE



水平目地材 S=1:5

AB-900PAKKIN

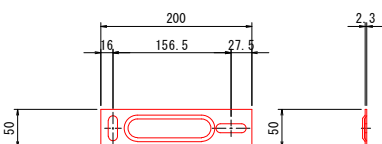


天端パネル付属部材セット

AP-BUZA1-900T

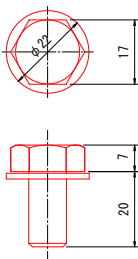
連結プレート S=1:5

AB-PLATE



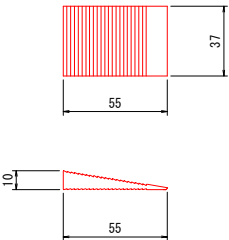
L型連結プレート S=1:1

AB-BOLT



水平目地材 S=1:2

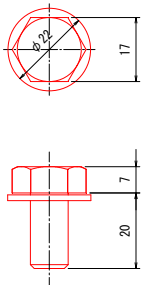
AB-CAMBER



天端パネル付属部材セット		
連結プレート	AB-PLATE	1枚
ボルト	AB-BOLT	2個
くさび	AB-CAMBER	2個

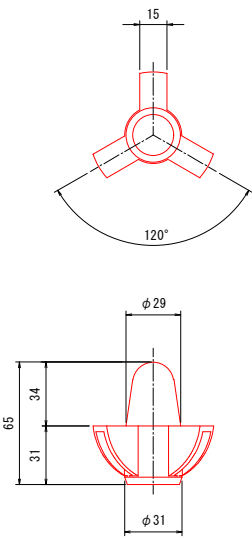
ボルト（座金付き）S=1:1

AB-BOLT



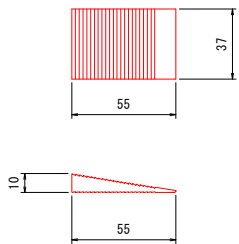
ジョイントピン S=1:2

AB-JP900



くさび S=1:2

AB-CAMBER



パネル付属部材セット		
連結プレート	AB-PLATE	2枚
水平目地材	AB-900PAKKIN	2枚
ボルト	AB-BOLT	4個
ジョイントピン	AB-JP900	2個
くさび	AB-CAMBER	2個

工事名	西葛上ノ原線災害復旧工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業（現年災・道路部）		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工部材詳細図（その7） S=図示		
図面番号	全 32 の 19	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

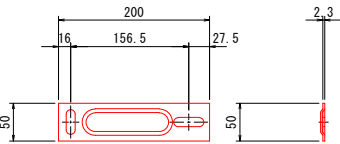
補強土壁工部材詳細図（その8）

角度調整パネル部材セット

AP-BUZA1-900-CR

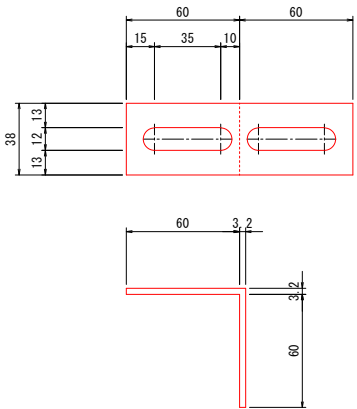
連結プレート S=1:5

AB-PLATE



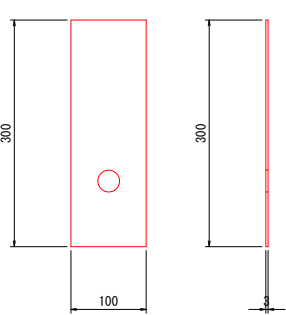
L型連結プレート S=1:2

AB-PLATE-LGATA



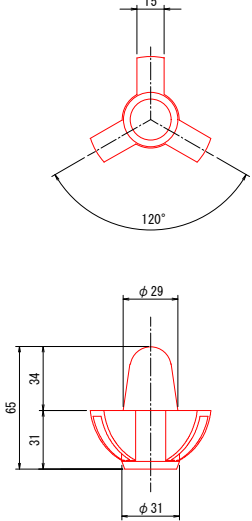
水平目地材 S=1:5

AB-900PAKKIN



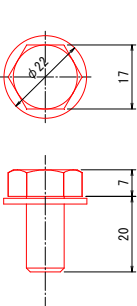
ジョイントピン S=1:2

AB-JP900



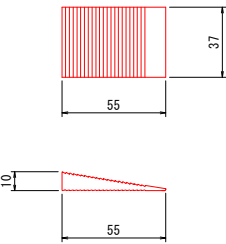
ボルト(座金付き) S=1:1

AB-BOLT



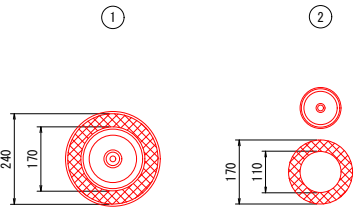
くさび S=1:2

AB-CAMBER



水平目地材 S=1:10

AP-PAKKIN-MARU



※ 水平目地材①：パネル上下目地材 t=3mm
水平目地材②：パネル中段目地材 t=3mm

角度調整パネル付属部材セット

連結プレート	AB-PLATE	4枚
L形連結プレート	AB-PLATE-LGATA	2枚
水平目地材	AB-900PAKKIN	2枚
水平目地材(円形)	AP-PAKKIN-MARU	1組
ボルト	AB-BOLT	10個
ジョイントピン	AB-JP900	4個
くさび	AB-CAMBER	4個

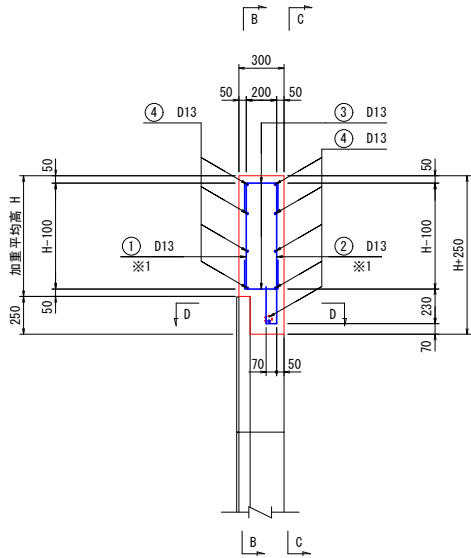
※角度調整パネル1組（左右）に対して1set

工 事 名	西葛上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工部材詳細図（その8） S=図示		
図面番号	全 32 の 20	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

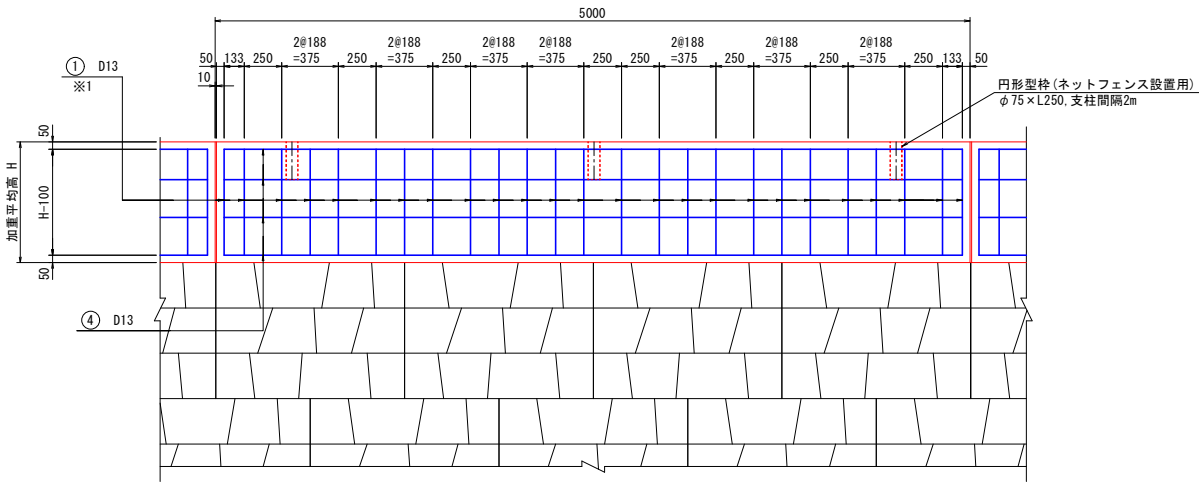
補強土壁工部材詳細図（その9）

笠コンクリート工配筋一般図 S=1:25

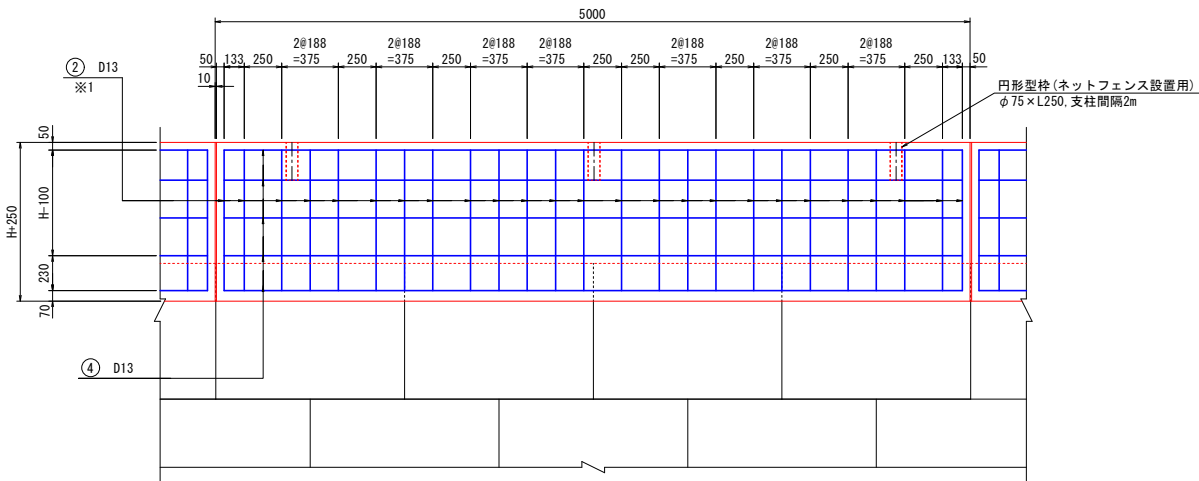
断面図 (A-A)



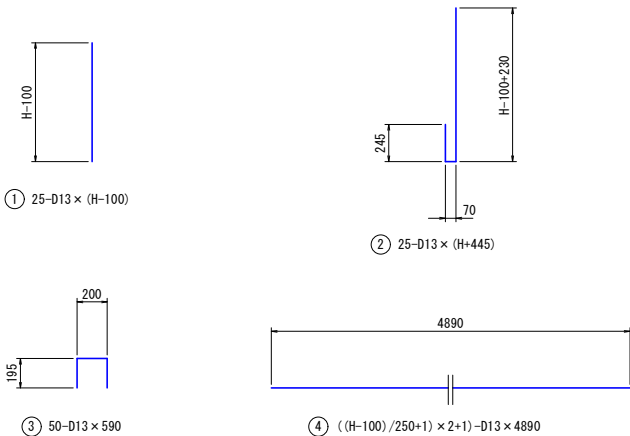
正面図 (B-B)



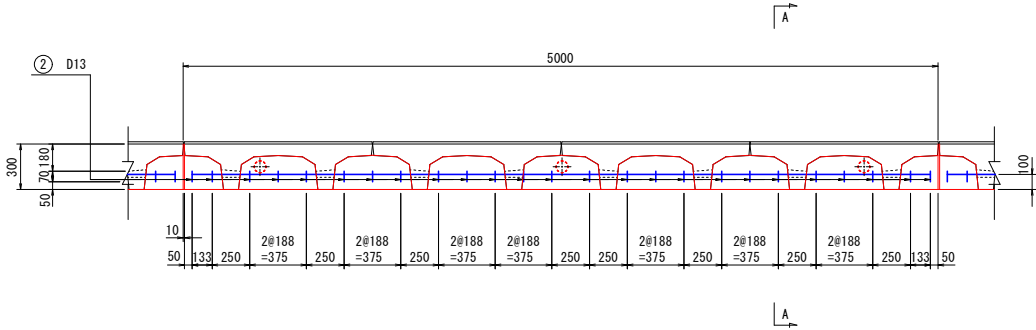
背面図 (C-C)



鉄筋加工図



平面図 (D-D)

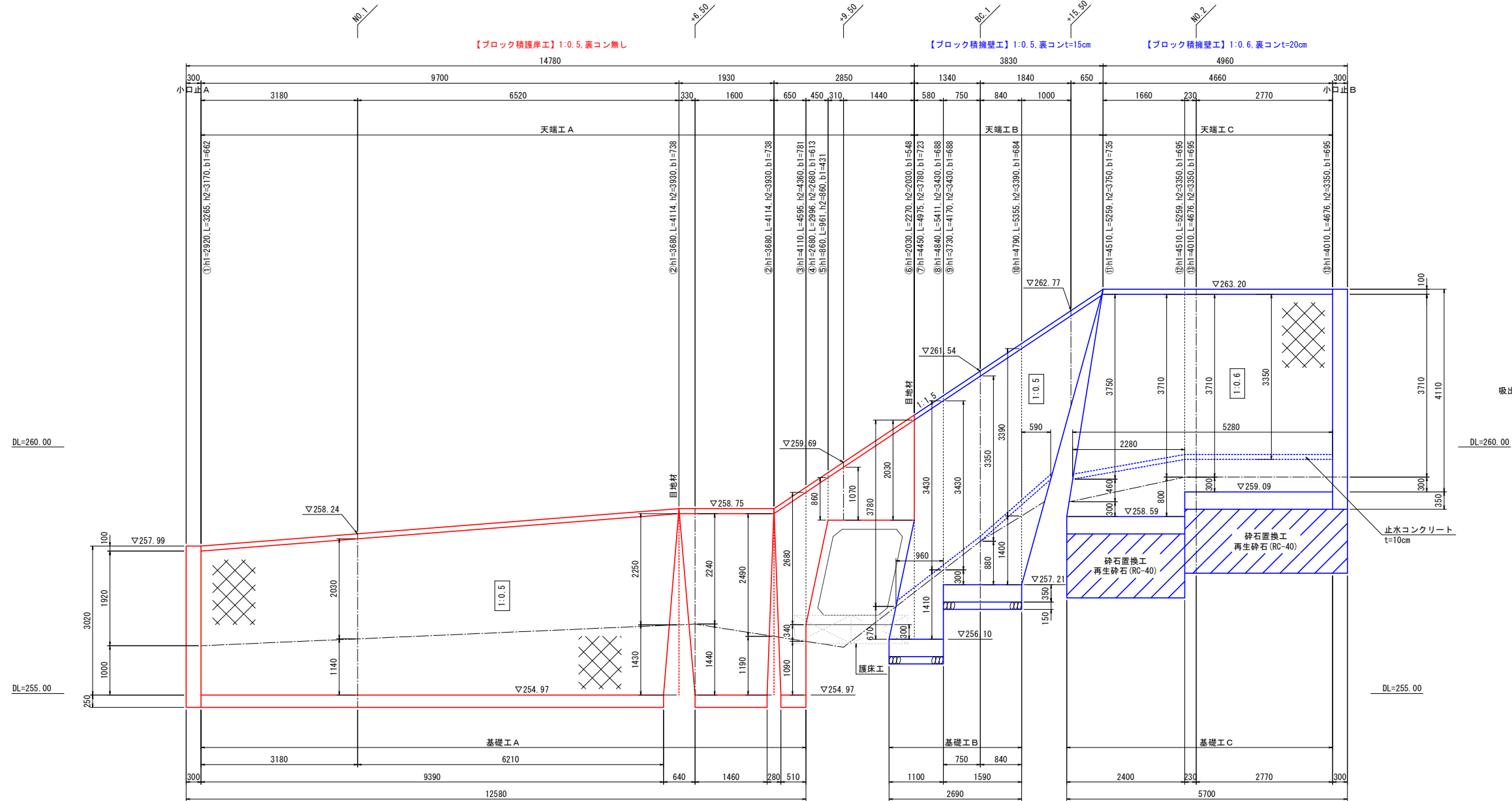


鉄筋重量表 (SD345) 荷重平均高 H=813mm							5.0m当り
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	形状
①	D13	720	25	0.995	0.72	18.00	└┘
②	D13	1260	25	0.995	1.25	31.25	└┘└┘
③	D13	590	50	0.995	0.59	29.50	└┘└┘└┘
④	D13	4890	9	0.995	4.87	43.83	└┘└┘└┘└┘└┘└┘└┘└┘└┘
D13 -							122.58 kg

工 事 名	西葛上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	補強土壁工部材詳細図(その9) S=図示		
図面番号	全 32 の 21	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

ブロック積護岸・擁壁工 構造図（その１）

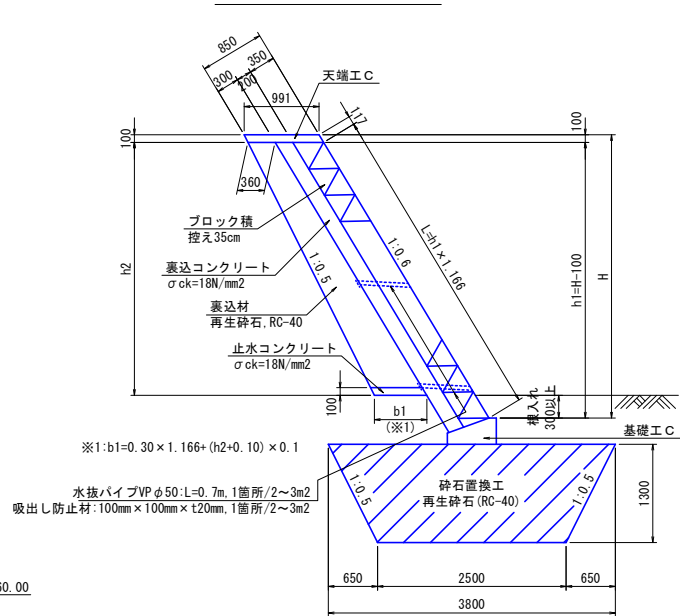
展開図 S=1:50



※止水コンクリートは、水抜き穴に集水できる水勾配をつけること。
※吸出防止材は止水コンクリートの上にL型に設置すること。

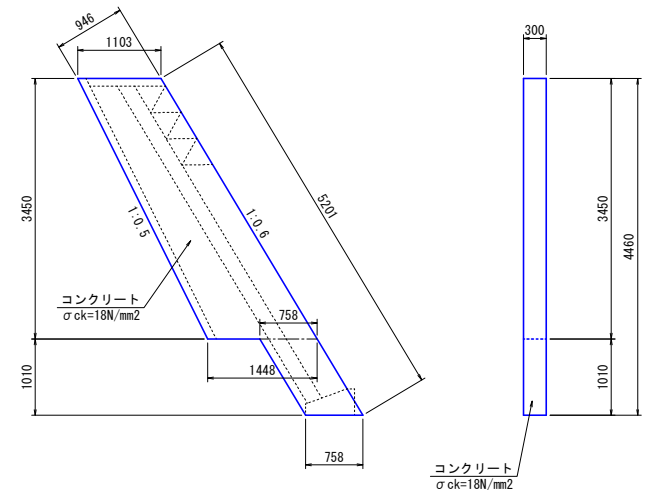
ブロック積擁壁工(1:0.6)

標準断面図 S=1:50



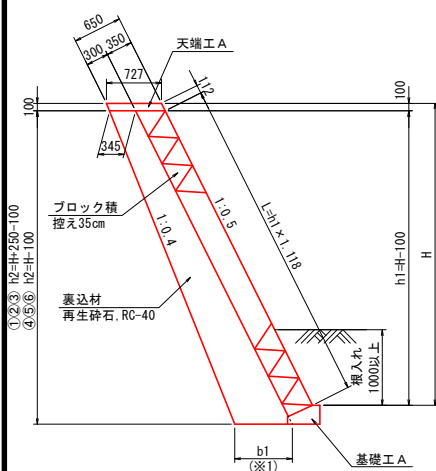
		寸法表		(m)		(m ²)	
番号	勾配	H	h1	L	h2	b1	裏込材面積 (止水0.05)
①	0.6	4.610	4.510	5.259	3.750	0.735	2.053
②	0.6	4.610	4.510	5.259	3.350	0.695	1.767
③	0.6	4.110	4.010	4.676	3.350	0.695	1.767

小口止 B 構造図 S=1:50



ブロック積護岸工

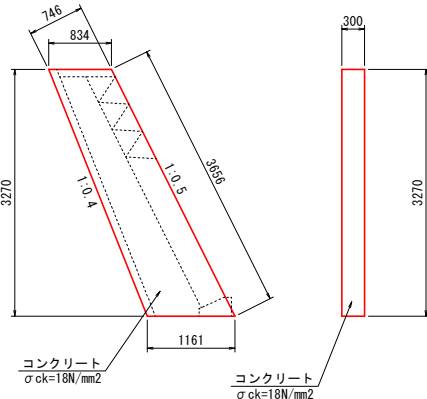
標準断面図 S=1:50



※1:b1=0.30×1.118+(h2+0.10)×0.1

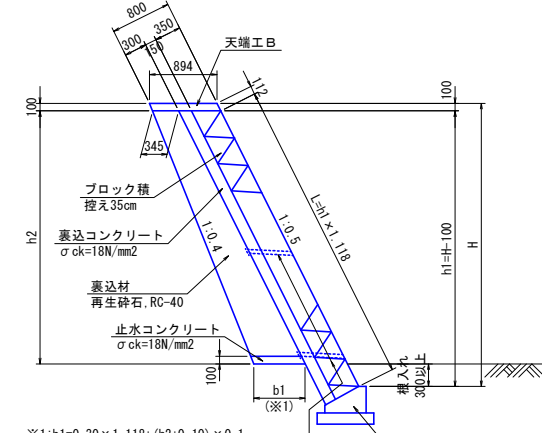
		寸法表		(m)		(m ²)	
番号	勾配	H	h1	L	h2	b1	裏込材面積 (止水0.05)
①	0.5	3.020	2.920	3.265	3.170	0.662	1.596
②	0.5	3.780	3.680	4.114	3.930	0.738	2.128
③	0.5	4.210	4.110	4.595	4.360	0.781	2.455
④	0.5	2.780	2.680	2.996	2.680	0.613	1.284
⑤	0.5	0.960	0.860	0.961	0.860	0.431	0.334
⑥	0.5	2.130	2.030	2.270	2.030	0.548	0.906

小口止 A 構造図 S=1:50



ブロック積擁壁工(1:0.5)

標準断面図 S=1:50



※1:b1=0.30×1.118+(h2+0.10)×0.1

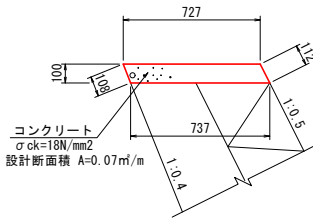
水抜パイプVPφ50:L=0.6m,1箇所/2~3m2
吸出し防止材:100mm×100mm×t20mm,1箇所/2~3m2

		寸法表		(m)		(m ²)	
番号	勾配	H	h1	L	h2	b1	裏込材面積 (止水0.05)
⑦	0.5	4.550	4.450	4.975	3.780	0.723	2.019
⑧	0.5	4.940	4.840	5.411	3.430	0.688	1.772
⑨	0.5	3.830	3.730	4.170	3.430	0.688	1.772
⑩	0.5	4.890	4.790	5.355	3.390	0.684	1.744

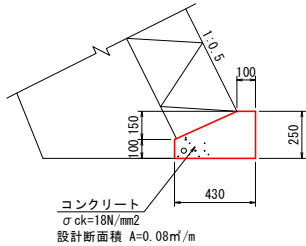
工事名	西昔上ノ原線災害復旧工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	ブロック積護岸・擁壁工 構造図(その1) S=図示		
図面番号	全 32 の 22	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

ブロック積護岸・擁壁工 構造図（その２）

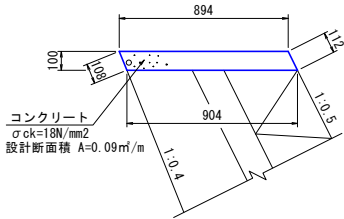
天端工 A 構造図 S=1:20



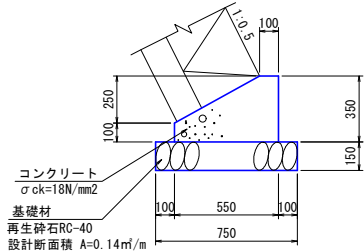
基礎工 A 構造図 S=1:20



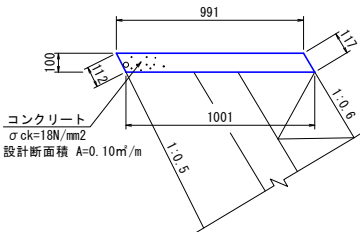
天端工 B 構造図 S=1:20



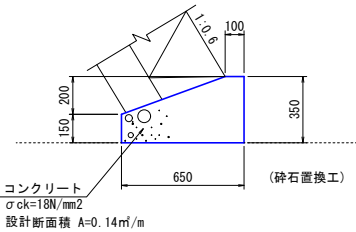
基礎工 B 構造図 S=1:20



天端工 C 構造図 S=1:20



基礎工 C 構造図 S=1:20



天端工 A 数量表

種 別	規 格	計 算 式	数 量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$1/2 \times (0.727+0.737) \times 0.10 \times 10.0 = 0.732$	0.73	m3
型 枠	小型構造物	$(0.108+0.112) \times 10.0 = 2.200$	2.20	m2
目 地 材	エラストイト t=10mm	$1/2 \times (0.727+0.737) \times 0.10 = 0.073$	0.07	m2

基礎工 A 数量表

種 別	規 格	計 算 式	数 量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(1/2 \times (0.10+0.43) \times 0.15+0.43 \times 0.10) \times 10.0 = 0.828$	0.83	m3
型 枠	小型構造物	$(0.10+0.25) \times 10.0 = 3.500$	3.50	m2
目 地 材	エラストイト t=10mm	$1/2 \times (0.10+0.43) \times 0.15+0.43 \times 0.10 = 0.083$	0.08	m2
基面整正		$0.43 \times 10.0 = 4.300$	4.30	m2

天端工 B 数量表

種 別	規 格	計 算 式	数 量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$1/2 \times (0.894+0.904) \times 0.10 \times 10.0 = 0.899$	0.90	m3
型 枠	小型構造物	$(0.108+0.112) \times 10.0 = 2.200$	2.20	m2

基礎工 B 数量表

種 別	規 格	計 算 式	数 量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(1/2 \times (0.10+0.55) \times 0.25+0.55 \times 0.10) \times 10.0 = 1.363$	1.36	m3
型 枠	小型構造物	$(0.10+0.35) \times 10.0 = 4.500$	4.50	m2
基礎材	再生砕石 RC-40, t=15cm	$0.75 \times 10.0 = 7.500$	7.50	m2
基面整正		$0.75 \times 10.0 = 7.500$	7.50	m2

天端工 C 数量表

種 別	規 格	計 算 式	数 量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$1/2 \times (0.991+1.001) \times 0.10 \times 10.0 = 0.996$	1.00	m3
型 枠	小型構造物	$(0.112+0.117) \times 10.0 = 2.290$	2.29	m2

基礎工 C 数量表

種 別	規 格	計 算 式	数 量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(1/2 \times (0.10+0.65) \times 0.20+0.65 \times 0.15) \times 10.0 = 1.725$	1.73	m3
型 枠	小型構造物	$(0.15+0.35) \times 10.0 = 5.000$	5.00	m2

ブロック積護岸工 数量表

種 別	規 格	計 算 式	数 量	単位
ブロック積	控え35cm	$1/2 \times (3.265+4.114) \times 1/2 \times (9.70+9.39) = 35.216$ $4.114 \times 1/2 \times (1.93+1.46) = 6.973$ $1/2 \times (4.114+4.595) \times 1/2 \times (0.65+0.51) = 2.526$ $1/2 \times (2.996+0.961) \times 0.45 = 0.890$ $1/2 \times (0.961+2.270) \times (0.31+1.44) = 2.827$	48.43	m2
裏込材	再生砕石 RC40	$1/2 \times (1.596+2.128) \times 1/2 \times (9.70+9.39) = 17.773$ $2.128 \times 1/2 \times (1.93+1.46) = 3.607$ $1/2 \times (2.128+2.455) \times 1/2 \times (0.65+0.51) = 1.329$ $1/2 \times (1.284+0.334) \times 0.45 = 0.364$ $1/2 \times (0.334+0.906) \times (0.31+1.44) = 1.085$	24.16	m3
天端工 A	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$9.70+1.93+2.85 = 14.480$	14.48	m
基礎工 A	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$9.39+1.46+0.51 = 11.360$	11.36	m
小口止 A	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$1/2 \times (0.834+1.161) \times 3.27 \times 0.30 = 0.979$	0.98	m3
同上型枠	小型構造物	$1/2 \times (0.834+1.161) \times 3.27 \times 2+3.656 \times 0.30 = 7.620$	7.62	m2
目地材	エラストイト t=10mm	$4.114 \times 0.35+2.270 \times 0.35 = 2.234$	2.23	m2

ブロック積擁壁工 (1:0.5) 数量表

種 別	規 格	計 算 式	数 量	単位
ブロック積	控え35cm	$1/2 \times (4.975+5.411) \times 1/2 \times (0.58+1.10) = 4.362$ $1/2 \times (4.170+5.355) \times (0.75+0.84) = 7.572$ $1/2 \times 5.355 \times (1.00+0.65) = 4.418$	16.35	m2
裏込コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$16.35 \times 0.15 = 2.453$	2.45	m3
裏込材	再生砕石 RC40	$1/2 \times (2.019+1.772) \times 1/2 \times (0.58+0.96) = 1.460$ $1/2 \times (1.772+1.744) \times (0.75+0.84) = 2.795$ $1/2 \times 1.744 \times 1/2 \times (1.00+0.65+0.59) = 0.977$ 止水コンクリート控除 $= -0.217$	5.02	m3
止水コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$1/2 \times (0.723+0.688) \times 0.96 \times 0.10 = 0.068$ $1/2 \times (0.688+0.684) \times (0.75+0.84) \times 0.10 = 0.109$ $0.684 \times 0.59 \times 0.10 = 0.040$	0.22	m3
天端工 B	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$3.83 = 3.830$	3.83	m
基礎工 B	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$2.69 = 2.690$	2.69	m
水抜パイプ	VP φ 50, L=0.6m	$16.35/2 \approx 9$ 箇所 $9 \times 0.6 = 5.400$	5.40	m
吸出し防止材	100 × 100	$16.35/2 \approx 9$ 箇所 $9 \times 0.10 \times 0.10 = 0.090$	0.09	m2

ブロック積擁壁工 (1:0.6) 数量表

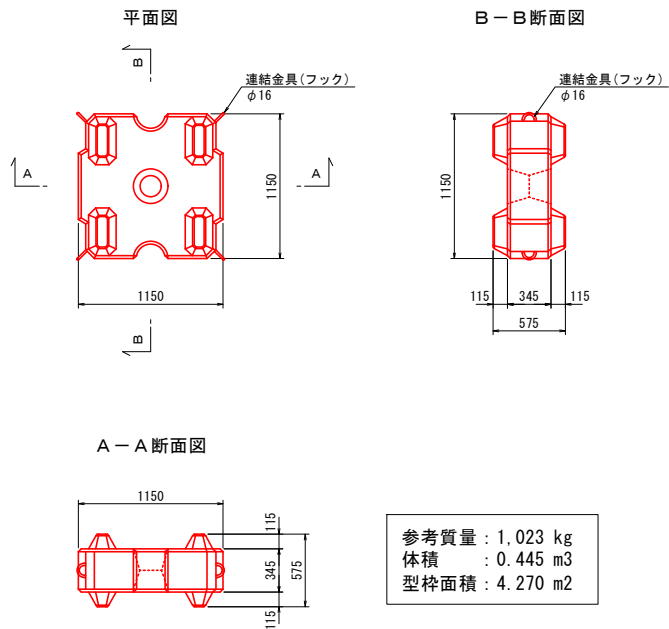
種 別	規 格	計 算 式	数 量	単位
ブロック積	控え35cm	$5.259 \times 1/2 \times (1.66+2.40) = 10.676$ $4.676 \times (0.23+2.77) = 14.028$	24.70	m2
裏込コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$24.70 \times 0.20 = 4.940$	4.94	m3
裏込材	再生砕石 RC40	$1/2 \times (2.053+1.767) \times 1/2 \times (1.66+2.28) = 3.763$ $1.767 \times (0.23+2.77) = 5.301$ 止水コンクリート控除 $= -0.372$	8.69	m3
止水コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$1/2 \times (0.735+0.695) \times 2.28 \times 0.10 = 0.163$ $0.695 \times (0.23+2.77) \times 0.10 = 0.209$	0.37	m3
天端工 C	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$4.66 = 4.660$	4.66	m
基礎工 C	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$2.40+0.23+2.77 = 5.400$	5.40	m
砕石置換工	再生砕石 RC-40	$1/2 \times (3.80+2.50) \times 1.30 \times 5.70 = 23.342$	23.34	m3
小口止 B	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(1/2 \times (1.103+1.448) \times 3.45+0.758 \times 1.01) \times 0.30 = 1.550$	1.55	m3
同上型枠	小型構造物	$(1/2 \times (1.103+1.448) \times 3.45+0.758 \times 1.01) \times 2+5.201 \times 0.30 = 11.892$	11.89	m2
水抜パイプ	VP φ 50, L=0.7m	$24.70/2 \approx 13$ 箇所 $13 \times 0.7 = 9.100$	9.10	m
吸出し防止材	100 × 100	$24.70/2 \approx 13$ 箇所 $13 \times 0.10 \times 0.10 = 0.130$	0.13	m2

工 事 名	西曽上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業 (現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	ブロック積護岸・擁壁工 構造図(その2) S=図示		
図面番号	全 32 の 23	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

護床工 詳細図

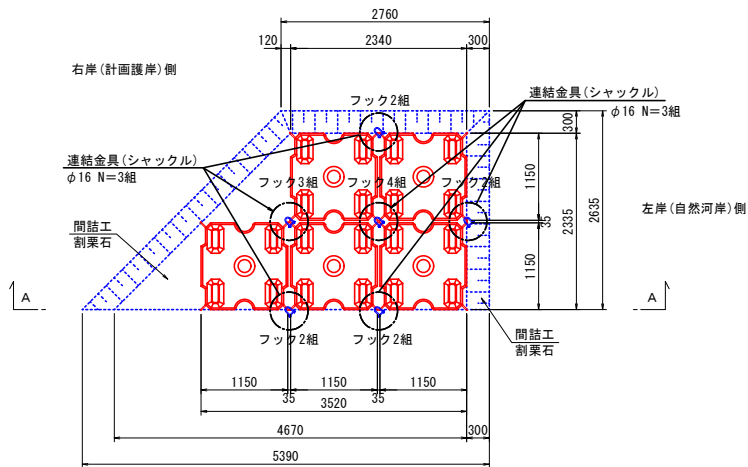
護床ブロック詳細図(参考図) S=1:30

1.0t型

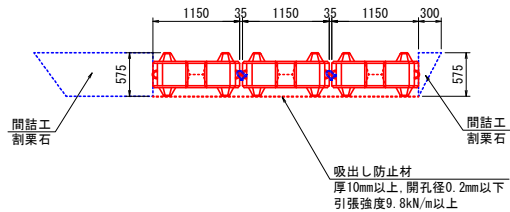


護床ブロック布設図(参考図) S=1:50

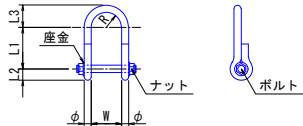
平面図



A-A断面

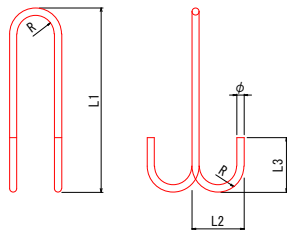


連結金具(シャックル) S=1:10



連結金具(シャックル)寸法表								単位:mm
呼び名	φ	R	W	L1	L2	L3	全長	質量(kg)
1.0t型	16	40	80	110	25	56	600	1.18

連結鉄筋(フック)

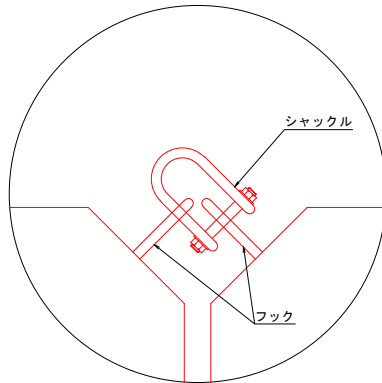


連結鉄筋寸法表

単位：mm

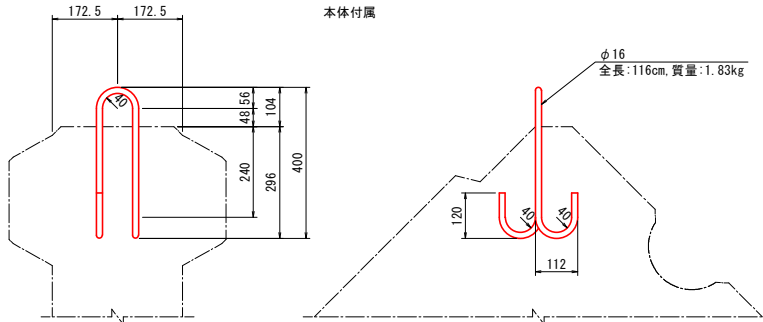
呼び名	φ	R	L1	L2	L3	全長	質量 (kg)
1 t 型	16	40	377	112	120	1110	1.75

連結部詳細図



連結金具(フック) S=1:10

本体付属



護床ブロック 数量表(参考)

一式当り

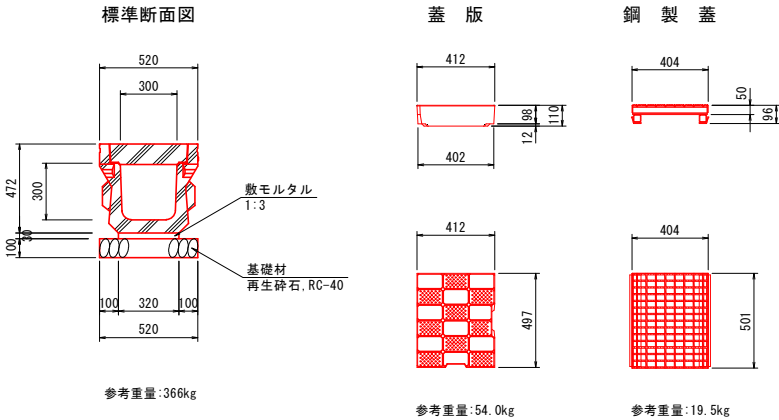
種 別	規 格	計 算 式	数 量	単位
護床ブロック	1.0t型	参考質量1.023kg、体積0.445m ³ 、型枠面積4.270m ²	5.00	個
連結金具	シャックルφ16	—	6.00	組
連結金具	フックφ16	—	15.00	組
間詰工	割栗石	$\frac{1}{2} \times (\frac{1}{2} \times (2.34 + 4.67) \times 2.335 + \frac{1}{2} \times (2.76 + 5.39) \times 2.635) \times 0.575 - 1.15 \times 1.15 \times 0.575 \times 5$	1.638	1.64
吸出し防止材	厚10mm以上、開孔径0.2mm以下 引張強度9.8kN/m以上	$3.52 \times 2.335 - (1.15 + 0.035) \times (1.15 + 0.035)$	6.815	6.82

※使用する2次製品は、設計図と同等品以上とし、監督員の承認を得ること。

工 事 名	西葛上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	護床工 詳細図	S=図示	
図面番号	全 32 の 24	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

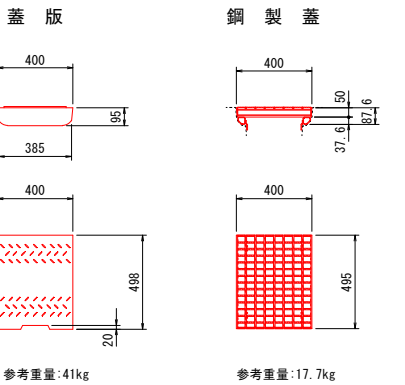
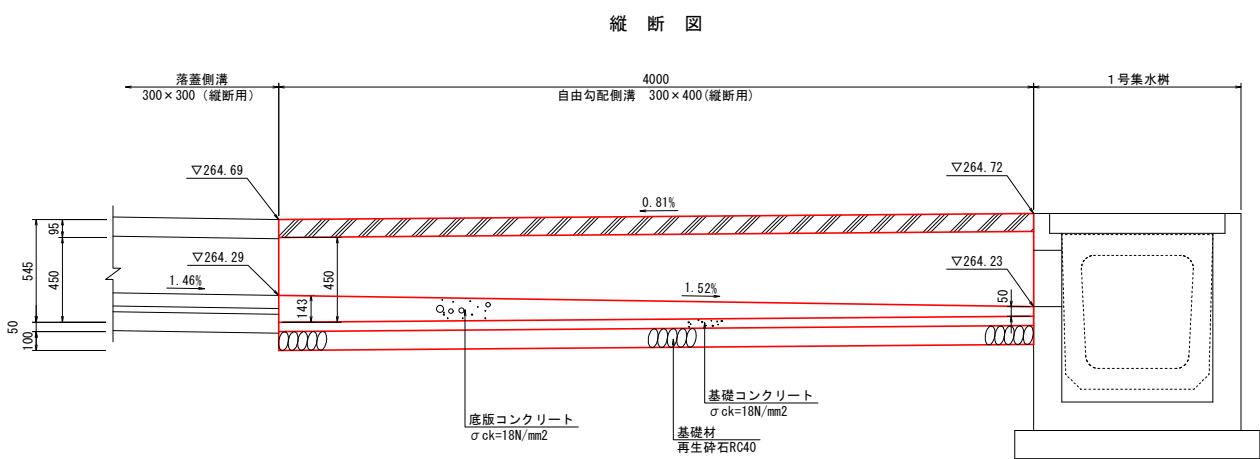
排水構造物工 構造図(その1)

落蓋側溝 S=1:20
300×300 (縦断用)



落蓋側溝 300×300 (縦断用) 数量表		10.0m当り		
種 別	規 格	計 算 式	数 量	単 位
基 礎 材	再生砕石, RC-40	(t=10cm) 0.52×10.00	5.20	m ²
敷モルタル	1:3	0.32×0.03×10.00	0.10	m ³
側 溝	300×300	10.0/2.0	5.00	本
蓋 版	300用, L=500	10.0/0.5~2.0	18.00	枚
鋼 製 蓋	L=500, T-25用, 並目	10.0/5.0	2.00	枚

自由勾配側溝 S=1:20
300×400 (縦断用)

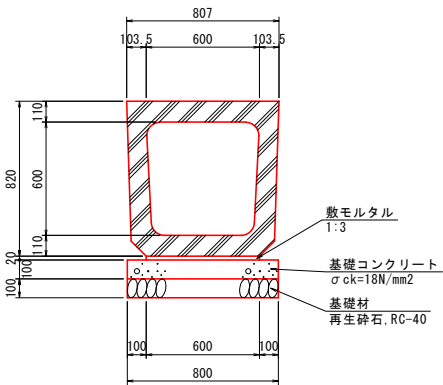


自由勾配側溝 数量表		1式当り		
種 別	規 格	計 算 式	数 量	単 位
自由勾配側溝	300×400 (縦断用) W=399kg/個	4.00 = 4.00	4.0	m
蓋 版	300用 W=41kg/枚	4.00×8枚/10m = 3.20	3.0	枚
鋼 製 蓋	300用 W=17.7kg/枚	4.00×2枚/10m = 0.80	1.0	枚
基 礎 材	再生砕石RC-40, t=10cm	0.51×4.00 = 2.04	2.0	m ²
基礎コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	0.51×0.05×4.00 = 0.10	0.1	m ³
同上型枠	均しコンクリート	0.05×4.00×2 = 0.40	0.4	m ²
底板コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	1/2×(0.143+0.05)×0.30×4.00 = 0.116	0.12	m ³

横断暗渠工

標準断面図 S=1:20

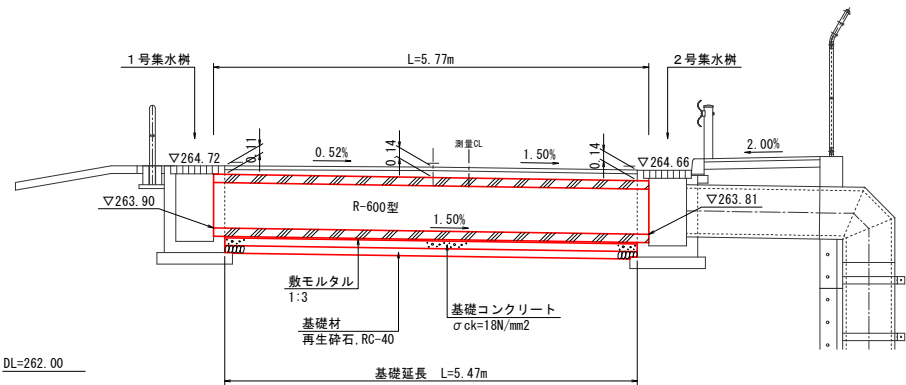
R-600型



横断暗渠工 数量表		10.0m当り		
種 別	規 格	計 算 式	数 量	単 位
横断暗渠	R-600, L=2000 参考重量: 1384kg	10.00 = 10.00	10.0	m
基 礎 材	再生砕石RC-40, t=10cm	0.80×10.00 = 8.00	8.0	m ²
基礎コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	0.80×0.10×10.00 = 0.80	0.8	m ³
同上型枠	均しコンクリート	0.10×10.00×2 = 2.00	2.0	m ²
敷モルタル	1:3	0.60×0.02×10.00 = 0.06	0.1	m ³

断 面 図 S=1:20

+9.50
GH=264.69
FH=264.70

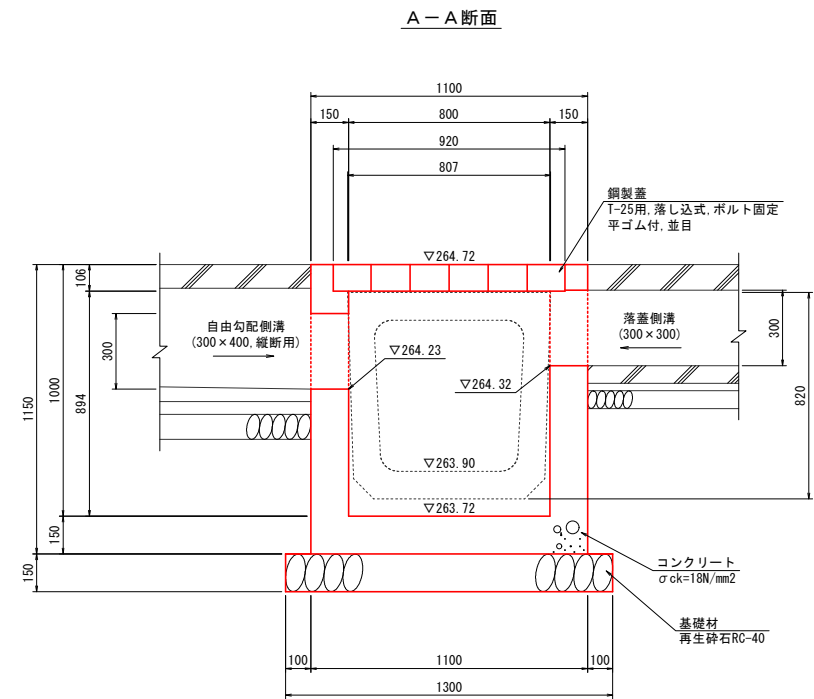
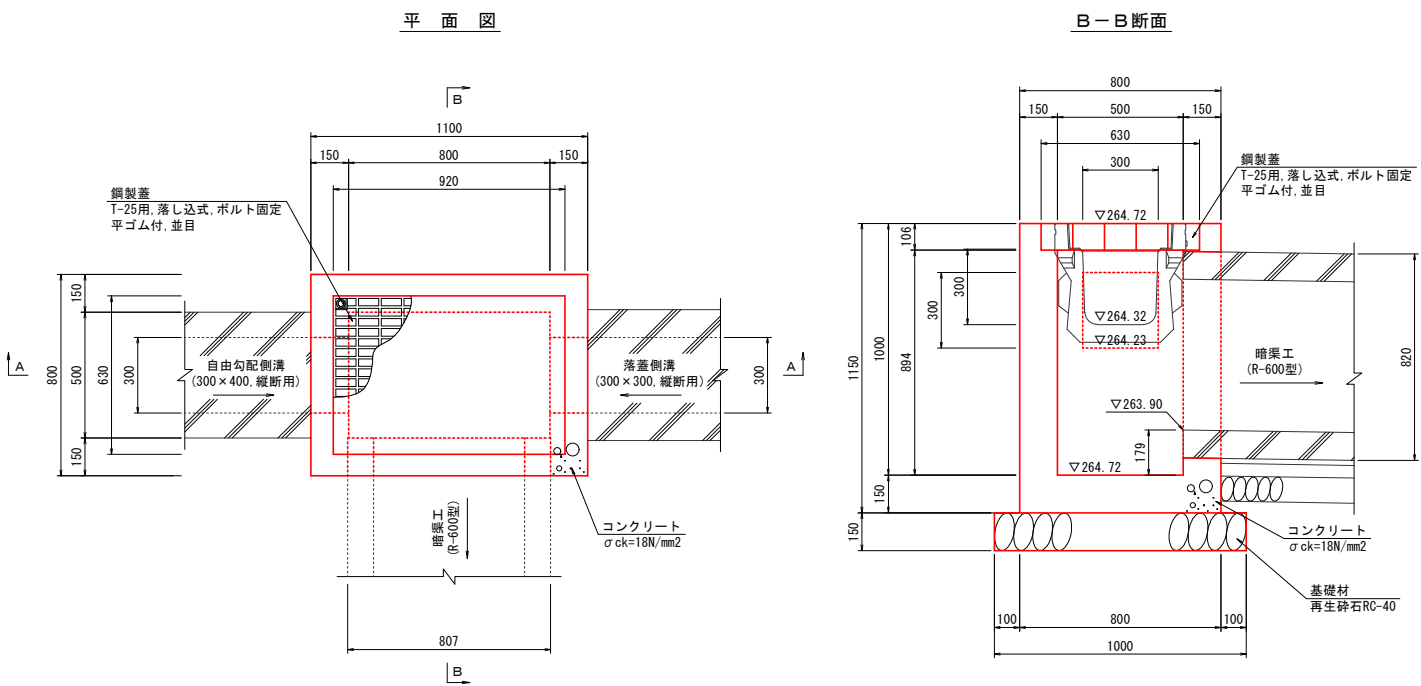


※使用する2次製品は、設計図と同等品以上とし、
監督員の承認を得ること。

工 事 名	西葛上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業 (現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	排水構造物工 構造図 (その1) S=図示		
図面番号	全 32 の 25	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

排水構造物工 構造図（その2）

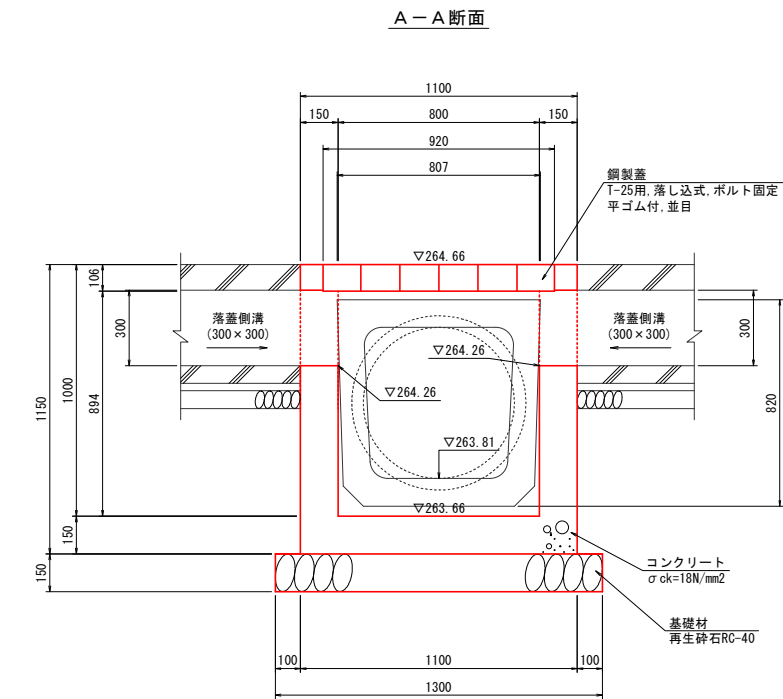
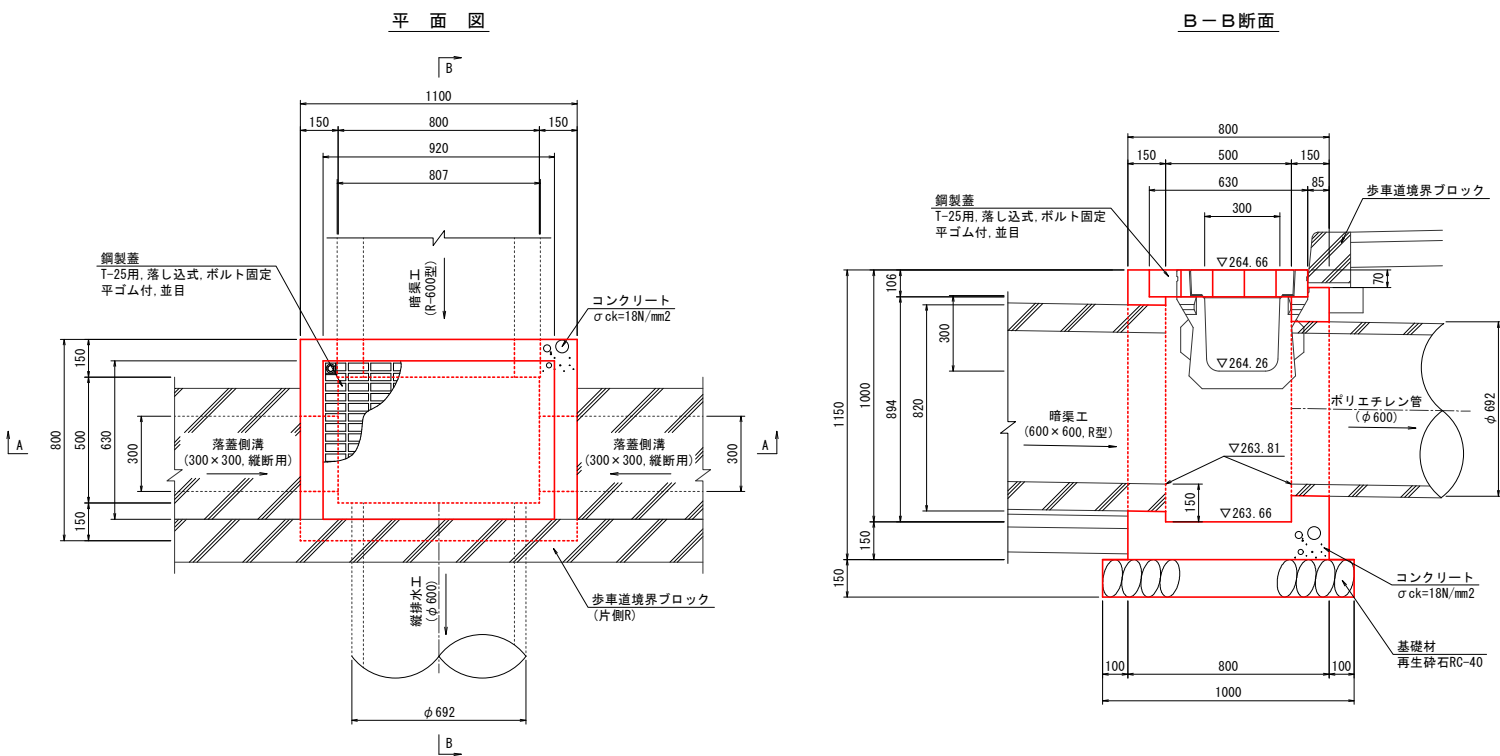
1号集水樹工 S=1:15



1号集水樹 数量表

種別	規格	計算式	数量	単位
コンクリート	σck=18N/mm2	$1.10 \times 0.80 \times 1.15 - (0.92 \times 0.63 \times 0.106 + 0.80 \times 0.50 \times 0.894 + 0.30 \times 0.30 \times 0.15 \times 2 + 0.807 \times 0.82 \times 0.15)$	0.467	m3
型枠	小型構造物	$(1.10 + 0.80) \times 1.15 \times 2 + (0.80 + 0.50) \times (0.894 + 0.15) \times 2 - (0.30 \times 0.30 \times 2 + 0.807 \times 0.82 \times 2)$	5.401	m2
基礎材	再生砕石RC-40, t=15cm	1.30×1.00	1.300	m2
鋼製蓋	T-25用	落し込式, ボルト固定, 平ゴム付, 並目, 受枠630×920×106, 本体607×900×90, 総重量89.0kg	1.00	組

2号集水樹工 S=1:15



2号集水樹 数量表

種別	規格	計算式	数量	単位
コンクリート	σck=18N/mm2	$1.10 \times 0.80 \times 1.15 - (0.92 \times 0.63 \times 0.106 + 0.80 \times 0.50 \times 0.894 + 0.30 \times 0.30 \times 0.15 \times 2 + 0.807 \times 0.82 \times 0.15 + \pi / 4 \times 0.692^2 \times 0.15) - 0.085 \times 0.07 \times 1.10$	0.404	m3
型枠	小型構造物	$(1.10 + 0.80) \times 1.15 \times 2 + (0.80 + 0.50) \times (0.894 + 0.15) \times 2 - (0.30 \times 0.30 \times 2 + 0.807 \times 0.82 \times 2 + \pi / 4 \times 0.692^2 \times 2) - 0.085 \times 0.07 \times 2 - 0.07 \times 1.10$	4.560	m2
基礎材	再生砕石RC-40, t=15cm	1.30×1.00	1.300	m2
鋼製蓋	T-25用	落し込式, ボルト固定, 平ゴム付, 並目, 受枠630×920×106, 本体607×900×90, 総重量89.0kg	1.00	組

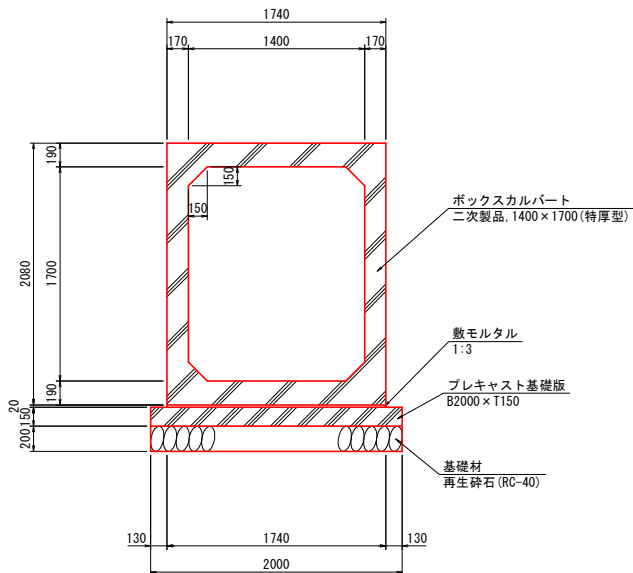
※使用する2次製品は、設計図と同等品以上とし、監督員の承認を得ること。

工事名	西葛上ノ原線災害復旧工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)
工事場所	鹿児島市 吉野町
図面種類	排水構造物工 構造図(その2) S=1:15
図面番号	全 32 の 26
作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課	

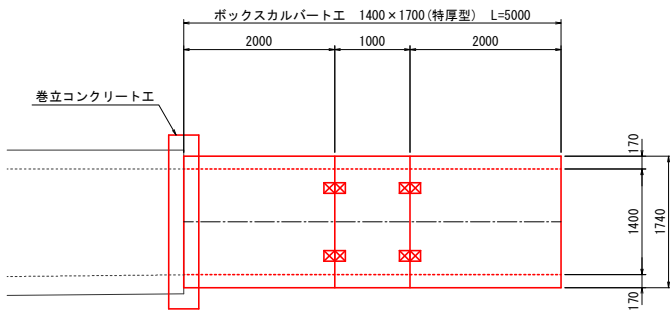
ボックスカルバート工 構造図（その1）

標準断面図 S=1:30

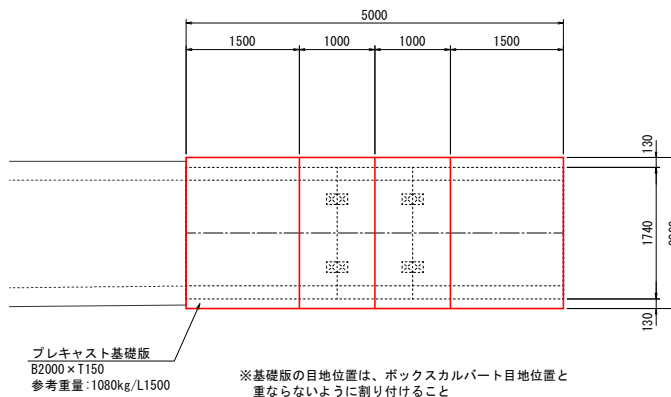
ボックスカルバート1400×1700(特厚型)



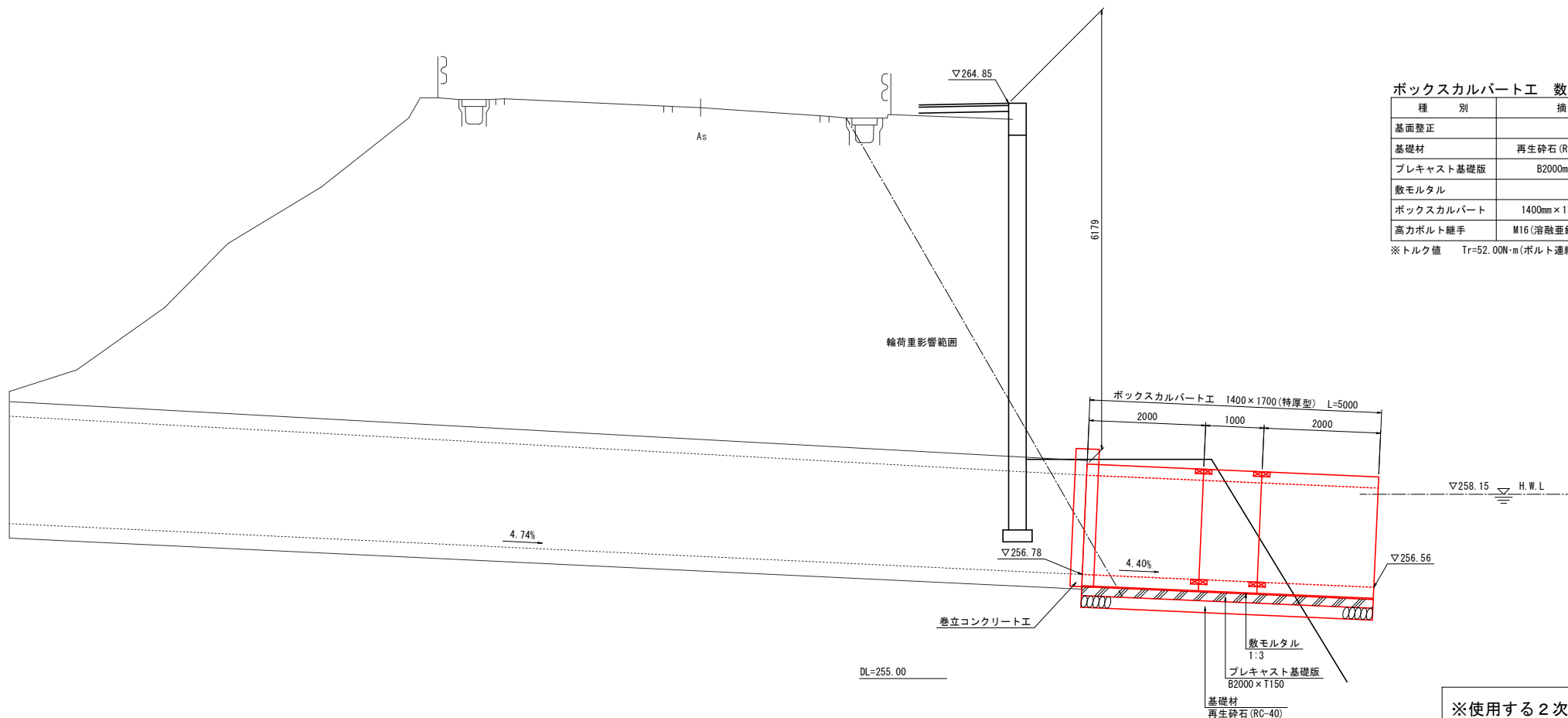
平面割付図 S=1:50



プレキャスト基礎版 割付図 S=1:50



縦断割付図 S=1:50

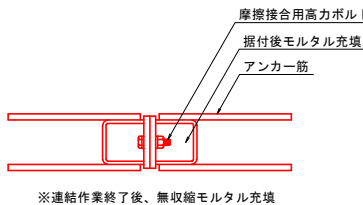


ボックスカルバート工 数量表

種別	摘要	計算法	数量	単位
基面整正		2.00×5.00	10.00	m2
基礎材	再生砕石(RC-40), t=200mm	2.00×5.00	10.00	m2
プレキャスト基礎版	B2000mm×T150mm	1.50×2+1.00×2	5.00	m
敷モルタル	1:3	1.74×5.00×0.02	0.17	m3
ボックスカルバート	1400mm×1700mm(特厚型)	2.00×2+1.00	5.00	m
高力ボルト継手	M16(溶融亜鉛メッキ仕上げ)	2×4 (高力ボルト8組に付きスライドアンカー16個)	8.00	組

※トルク値 Tr=52.00N・m(ボルト連結)

ボルト連結継手部 詳細図



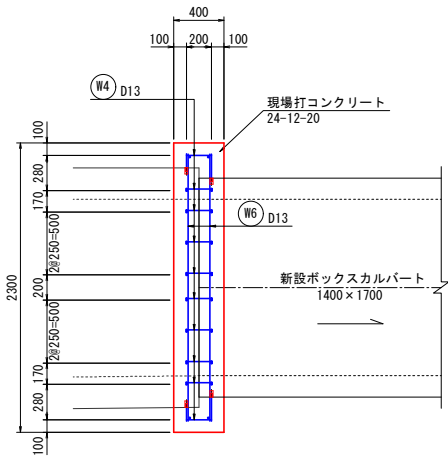
※使用する2次製品は、設計図と同等品以上とし、監督員の承認を得ること。

工事名	西葛上ノ原線災害復旧工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	ボックスカルバート工 構造図(その1) S=図示		
図面番号	全 32 の 27	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

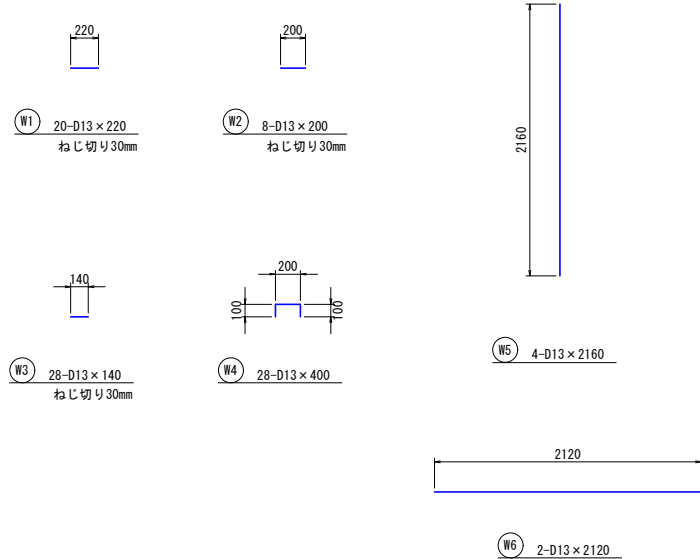
ボックスカルバート工 構造図(その2)

巻立コンクリート工 構造図 S=1:30

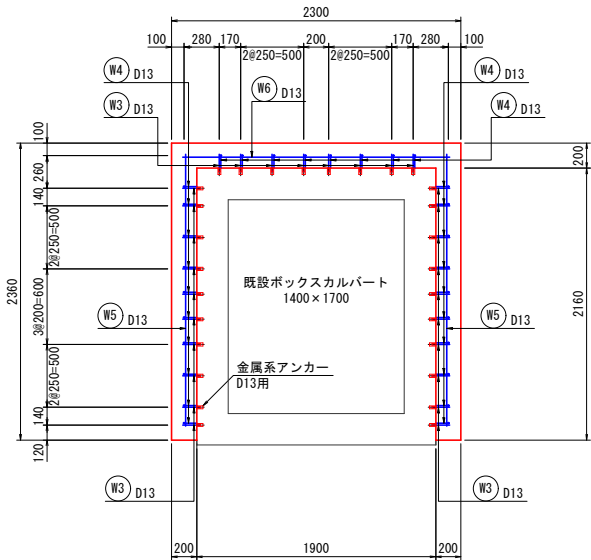
平面図



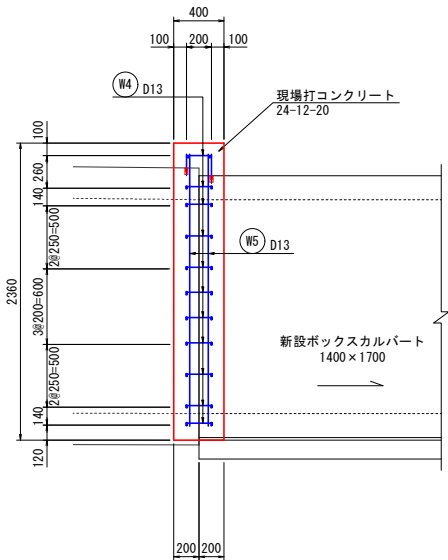
鉄筋加工図



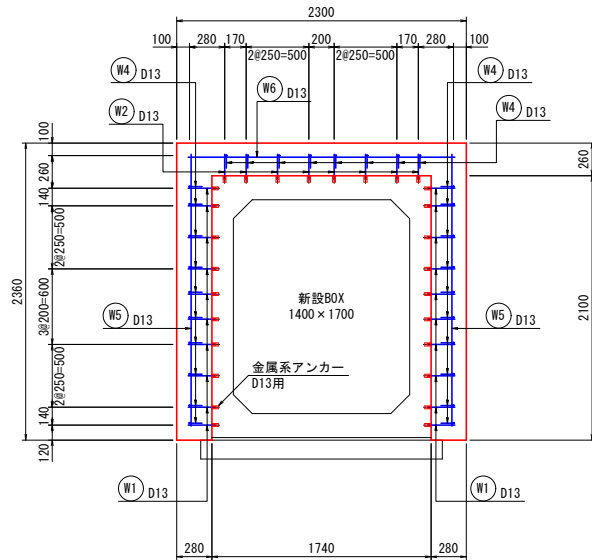
正面図(既設ボックス側)



側面図



正面図(新設ボックス側)



鉄筋総括表

記号	径	長さ(mm)	本数	単位質量	一本当質量	質量(kg)	摘要
W1	13	220	20	0.995	0.219	4.4	ねじ切り30mm
2	"	200	8	"	0.199	1.6	ねじ切り30mm
3	"	140	28	"	0.139	3.9	ねじ切り30mm
4	"	400	28	"	0.398	11.1	
5	"	2160	4	"	2.149	8.6	
6	"	2120	2	"	2.109	4.2	
W1~3						9.9	kg
W4~6						23.9	kg
SD345 D13						33.8	
						kg	
合計						33.8	

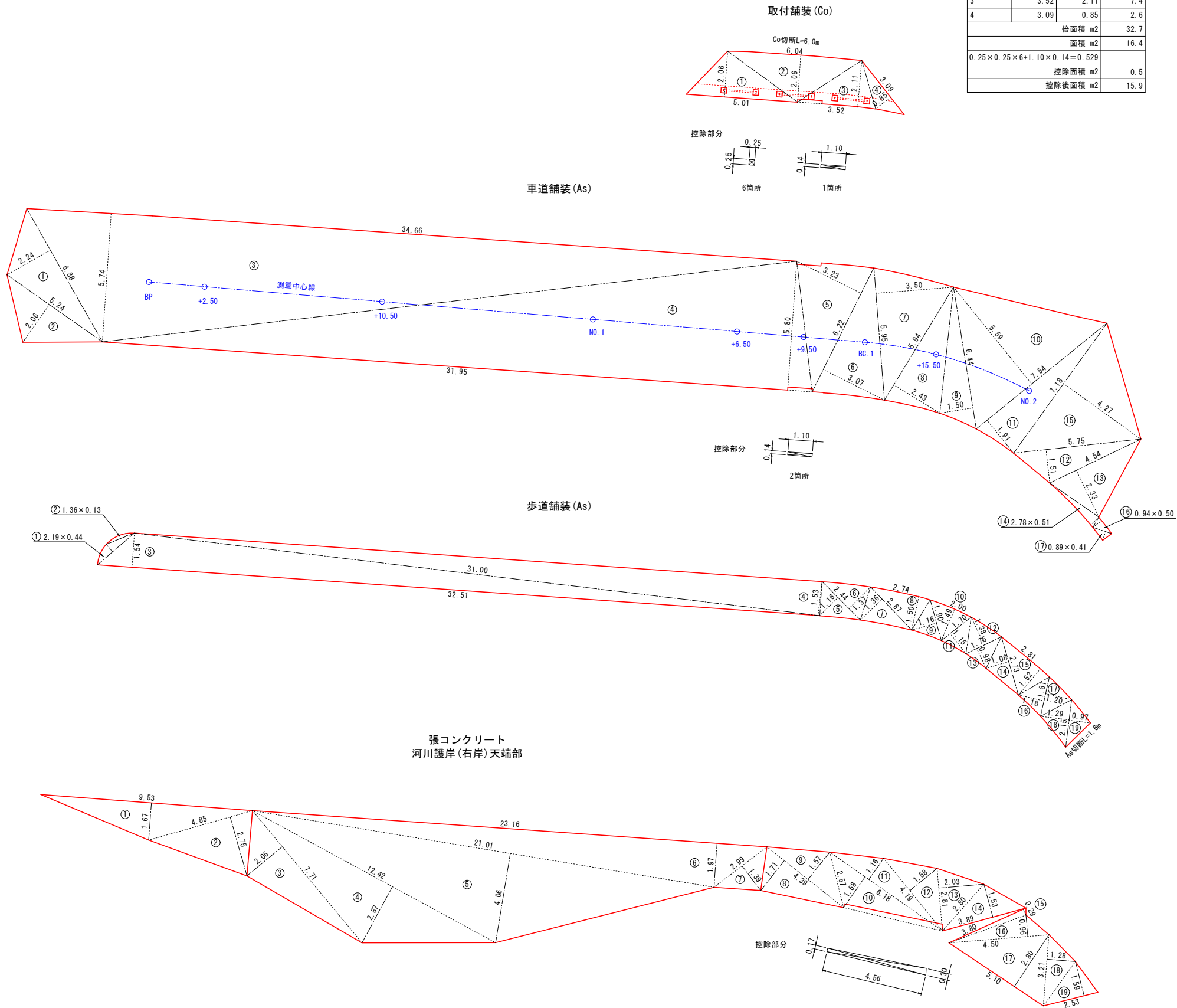
巻立コンクリート工 数量表

種別	摘要	計算式	数量	単位
型枠	鉄筋構造物	(2.30×2.36-1.74×2.10) +(2.30×2.36-1.90×2.16)+0.4×2.36×2	4.99	m ²
鉄筋	D13 鉄筋表より		23.9	kg
コンクリート	24-12-20	2.30×2.36×0.40-1.74×2.10×0.20 -1.90×2.16×0.20	0.62	m ³
コンクリート削孔	電動ハンマドリル		56.00	孔
あと施工アンカー	D13/200/200/140		56.00	本
ねじ切り鉄筋			56.00	本

工事名	西首上ノ原線災害復旧工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	ボックスカルバート工 構造図(その2) S=図示		
図面番号	全 32 の 28	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

舗装工 展開図

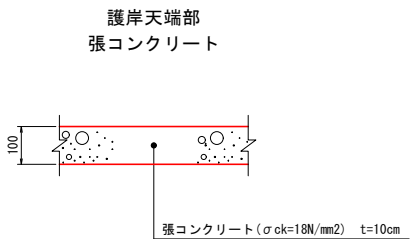
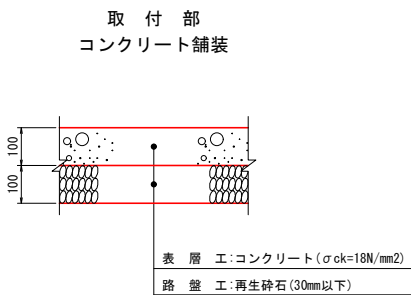
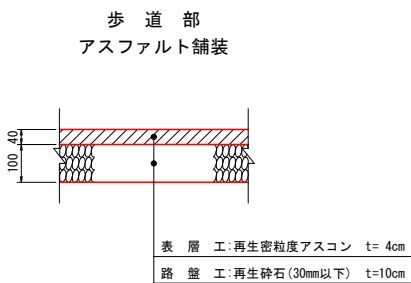
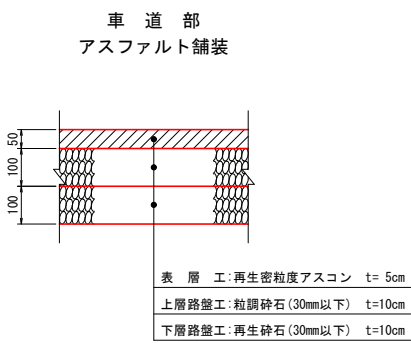
舗装求積図 S=1:100



取付舗装 求積表			
記号	底辺	高さ	倍面積 m2
1	5.01	2.06	10.3
2	6.04	2.06	12.4
3	3.52	2.11	7.4
4	3.09	0.85	2.6
倍面積 m2			32.7
面積 m2			16.4
0.25×0.25×6+1.10×0.14=0.529			
控除面積 m2			0.5
控除後面積 m2			15.9

車道舗装 求積表			
記号	底辺	高さ	倍面積 m2
1	6.88	2.24	15.4
2	5.24	2.06	10.8
3	34.66	5.74	198.9
4	31.95	5.80	185.3
5	6.22	3.23	20.1
6	6.22	3.07	19.1
7	5.95	3.50	20.8
8	5.94	2.43	14.4
9	6.44	1.50	9.7
10	7.54	5.59	42.1
11	7.54	1.91	14.4
12	5.75	1.51	8.7
13	4.54	2.33	10.6
14	2.78	0.51	1.4
15	7.18	4.27	30.7
16	0.94	0.50	0.5
17	0.89	0.41	0.4
倍面積 m2			603.3
面積 m2			301.7
1.10×0.14×2=0.308			
控除面積 m2			0.3
控除後面積 m2			301.4

舗装構成 S=1:10



歩道舗装 求積表			
記号	底辺	高さ	倍面積 m2
1	2.19	0.44	1.0
2	1.36	0.13	0.2
3	32.51	1.54	50.1
4	31.00	1.53	47.4
5	2.44	1.16	2.8
6	2.44	1.37	3.3
7	2.67	1.36	3.6
8	2.74	1.50	4.1
9	1.90	1.16	2.2
10	2.00	1.49	3.0
11	1.70	1.15	2.0
12	1.76	1.38	2.4
13	1.76	0.98	1.7
14	2.73	1.06	2.9
15	2.81	1.52	4.3
16	1.81	1.18	2.1
17	1.81	1.20	2.2
18	2.15	1.29	2.8
19	2.15	0.97	2.1
倍面積 m2			140.2
面積 m2			70.1

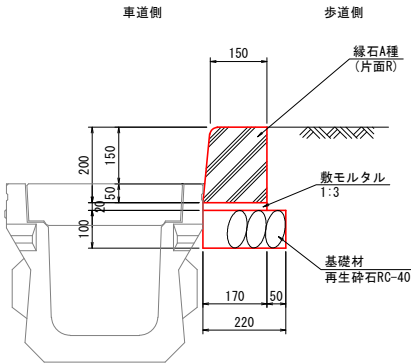
張コンクリート 求積表			
記号	底辺	高さ	倍面積 m2
1	9.53	1.67	15.9
2	4.85	2.75	13.3
3	7.71	2.06	15.9
4	12.42	2.87	35.6
5	21.01	4.06	85.3
6	23.16	1.97	45.6
7	2.99	1.39	4.2
8	4.39	1.71	7.5
9	4.39	1.57	6.9
10	6.18	1.68	10.4
11	6.18	1.16	7.2
12	4.19	1.58	6.6
13	2.81	2.03	5.7
14	3.89	1.53	6.0
15	3.80	0.29	1.1
16	4.50	0.96	4.3
17	5.10	2.80	14.3
18	3.21	1.28	4.1
19	2.53	1.59	4.0
倍面積 m2			293.9
面積 m2			147.0
1/2×(0.17+0.30)×4.56=1.072			
控除面積 m2			1.1
控除後面積 m2			145.9

工 事 名	西首上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業 (現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	舗装工 展開図 S=図示		
図面番号	全 32 の 29	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

縁石工 構造図

歩車道境界ブロック S=1:10

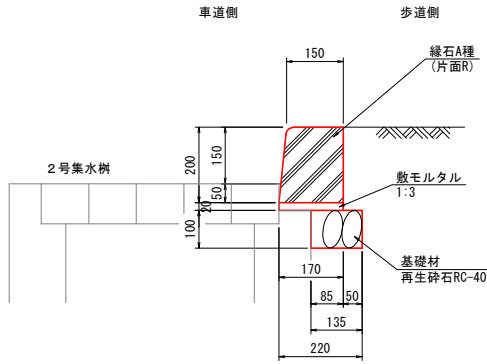
標準部
(片面 R・A 種)



縁石工 (標準部・片面 R) 数量表		10.0m 当り			
種 別	規 格	計 算 式		数 量	単 位
縁 石	A 種・片面 R	(L=1990, 参考重量=145kg)		10.00	m
敷モルタル	1:3	$0.17 \times 0.02 \times 10.0$	= 0.034	0.034	m3
基 礎 材	再生砕石, RC-40	(t=10cm) 0.22×10.0	= 2.200	2.20	m2

歩車道境界ブロック S=1:10

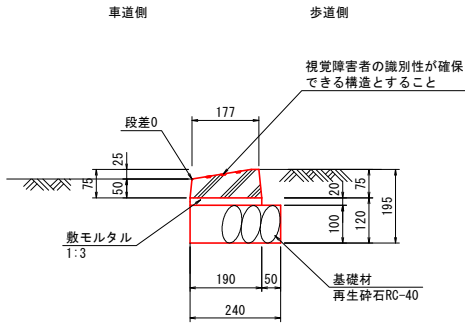
標準部【2号集水樹部 L=1.1m】
(片面 R・A 種)



縁石工 (標準部・片面 R) 数量表		一式 当り			
種 別	規 格	計 算 式		数 量	単 位
縁 石	A 種・片面 R	(L=1990, 参考重量=145kg)		1.10	m
敷モルタル	1:3	$0.17 \times 0.02 \times 1.10$	= 0.004	0.004	m3
基 礎 材	再生砕石, RC-40	(t=10cm) 0.135×1.10	= 0.149	0.15	m2

歩車道境界ブロック S=1:10

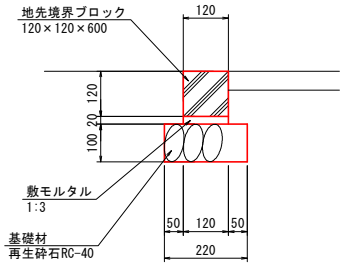
歩道乗入部
(バリアフリー対応)



縁石工 (歩道乗入部) 数量表		10.0m 当り			
種 別	規 格	計 算 式		数 量	単 位
縁 石	歩道乗入 (n' リフリ~)	(L=600, 参考重量=15kg)		10.00	m
敷モルタル	1:3	$0.19 \times 0.02 \times 10.0$	= 0.038	0.038	m3
基 礎 材	再生砕石, RC-40	(t=10cm) 0.24×10.0	= 2.400	2.40	m2

舗装止工 S=1:10

地先境界ブロック

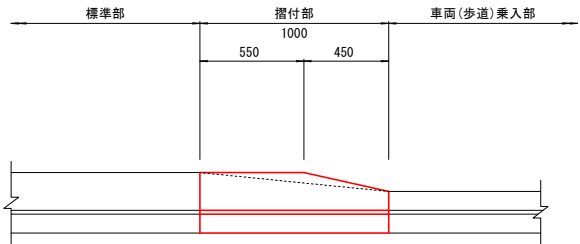


舗装止工 数量表		10.0m 当り			
種 別	規 格	計 算 式		数 量	単 位
地先境界ブロック	120×120×600	(L=600, 参考重量=20kg)		10.00	m
敷モルタル	1:3	$0.12 \times 0.02 \times 10.0$	= 0.024	0.02	m2
基 礎 材	再生砕石, RC-40	(t=10cm) 0.22×10.0	= 2.200	2.20	m2

歩車道境界ブロック

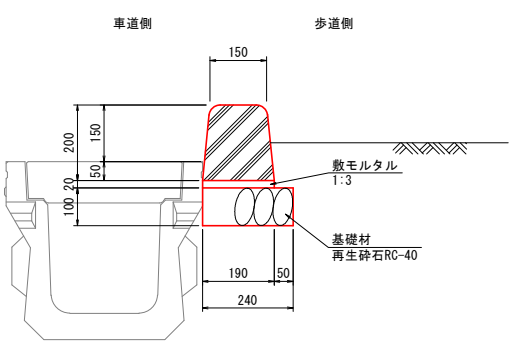
摺付部

側面図 S=1:20



縁石工 (摺付部) 数量表		1.0m 当り			
種 別	規 格	計 算 式		数 量	単 位
縁 石	A 種・両面 R 端部	(L=1000, 参考重量=69kg)		1.00	m
敷モルタル	1:3	$0.19 \times 0.02 \times 1.0$	= 0.004	0.004	m3
基 礎 材	再生砕石, RC-40	(t=10cm) 0.24×1.0	= 0.240	0.24	m2

断面図 S=1:10



※使用する 2 次製品は、設計図と同等品以上とし、監督員の承認を得ること。

工 事 名	西葛上ノ原線災害復旧工事		
事 業 名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	縁石工 構造図 S=図示		
図面番号	全 32 の 30	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

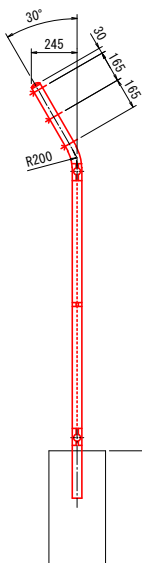
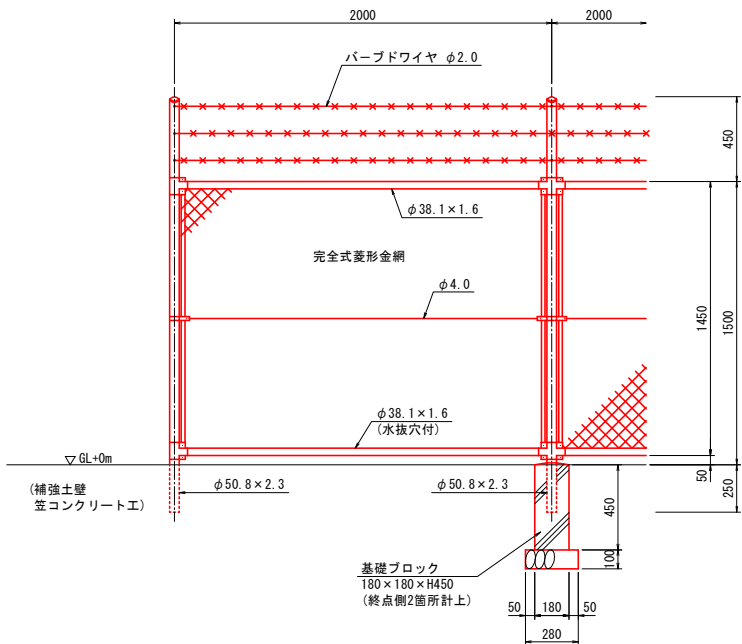
防護柵工 構造図

ネットフェンス (H=1500, 曲忍付) S=1:20

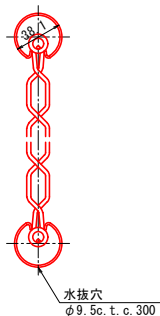
(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 $q_L=0m$ に依る)

正面図

側面図

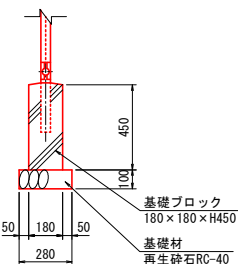


胴縁に金網取付断面図 S=1:3



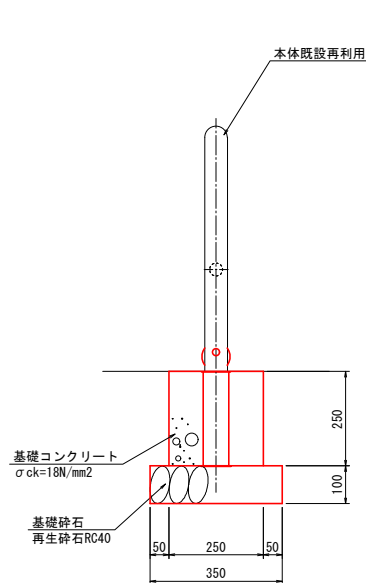
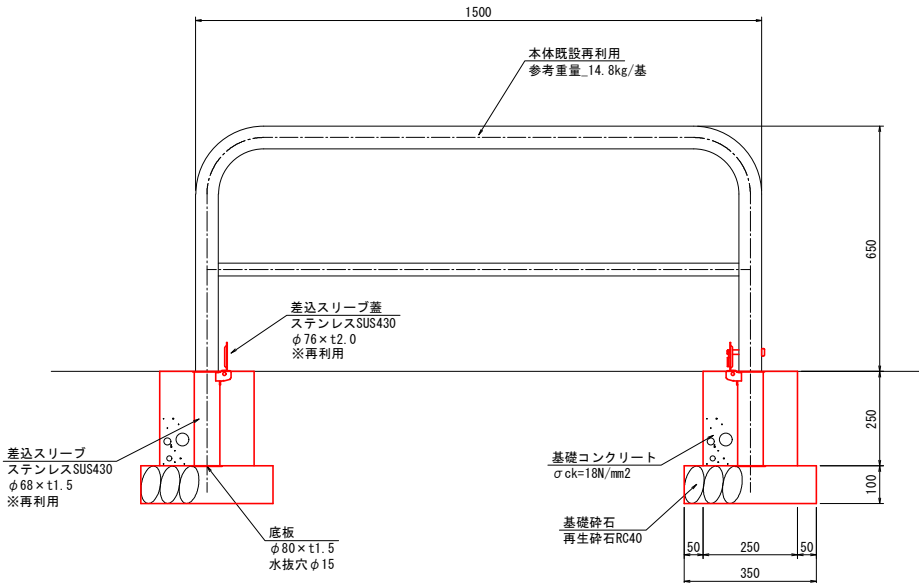
基礎ブロック部

□180×H450
(終点側2箇所計上)



車止め基礎工 (参考図) S=1:10

※本体は、既設再利用



設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)

備考
1. 外装は金網類及びバードワイヤを除く他は、溶融亜鉛めっきとする。
2. 本欄の金網規格は下記の通りとする。
 $\phi 2.6 \times 40mm$, $\phi 2.6 \times 56mm$
 $\phi 3.2 \times 50mm$, $\phi 3.2 \times 56mm$

ネットフェンス基礎ブロック 数量表

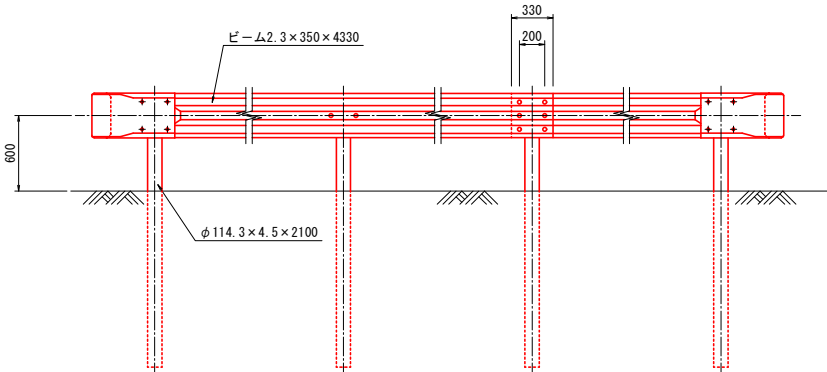
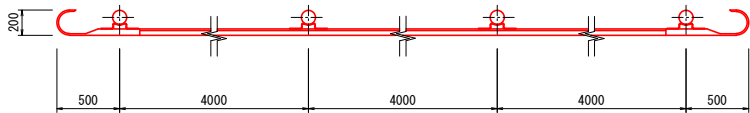
種別	規格	計算式	数量	単位
基礎ブロック	180×180×H450	—	1.00	個
基礎材	再生砕石RC-40, t=10cm	$0.28 \times 0.28 = 0.078$	0.08	m ²

車止め基礎工 数量表

名称	種目	計算式	数量	単位
基礎材	再生砕石RC-40 (t=10cm)	$0.35 \times 0.35 \times 2$ 箇所	= 0.245	m ²
型枠	小型構造物	$0.25 \times 0.25 \times 4 \times 2$ 箇所	= 0.500	m ²
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(0.25 \times 0.25 \times 0.25 - \pi/4 \times 0.076^2 \times 0.25) \times 2$ 箇所	= 0.029	m ³
差込スリーブ	SUS430, $\phi 68 \times t1.5$	(蓋含む) ※再利用	2.00	個

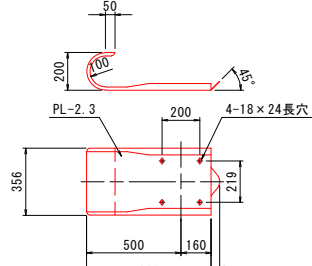
ガードレール S=1:30

土中用 (Gr-C-4E)



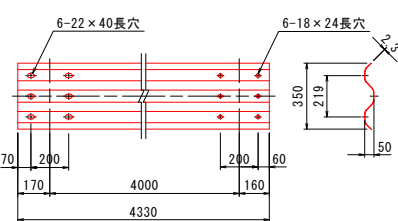
袖ビーム

S=1:20



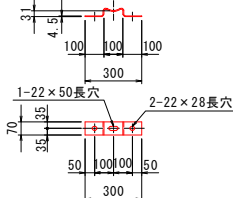
ビーム

S=1:20



ブラケット

S=1:20



材料の規格

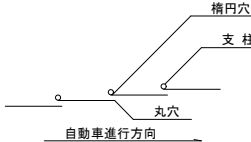
ビーム : JIS G3101「一般構造物用圧延鋼材」2種
またはこれと同等以上のものを用いる。
支柱 : JIS G3444「一般構造物用炭素鋼鋼管」2種
またはこれと同等以上のものを用いる。
ブラケット : 材質はビームに準ずる。
ボルトナット : 材質および寸法はJIS B1180「六角ボルト」およびJIS B1181「六角ナット」の規定によるものとする。
ブラケット取付け用ボルト (ねじの呼びM20) は4Tとし、ビーム継手用およびビーム取付け用ボルト (ねじの呼びM16) は6Tとする。

工事施工上の注意

- 支柱の設置は打ち込み開始施工の別を問わない。
- ビームの組み立ては楕円形のボルト穴を隠すようにして、下図のように重ね合わせボルトナットで十分ナットで十分締め付けなければならない。
- 路面からビーム中心までの高さについて、縁石、アスカブ等のある場合は、それらの上端からとする。

塗装の仕様

ビーム : 溶融亜鉛メッキ法により亜鉛メッキを施し、仕上塗装は工場にて焼酸塩処理等を行った後、熱硬化性アクリル樹脂塗料またはこれと同等以上の塗料を使用し塗装を行う。
この場合亜鉛付着量はJIS G3302「亜鉛鉄板」3種に規定されている呼び付着量381g/m²以上、塗装厚みは最少20μmとする。
支柱 : 地上部分はビームに準じ、地中部分は黒ワニス1種 同等以上のもので内外面とも塗装する。
ボルトナット : ビームに準ずる。

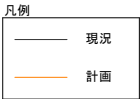
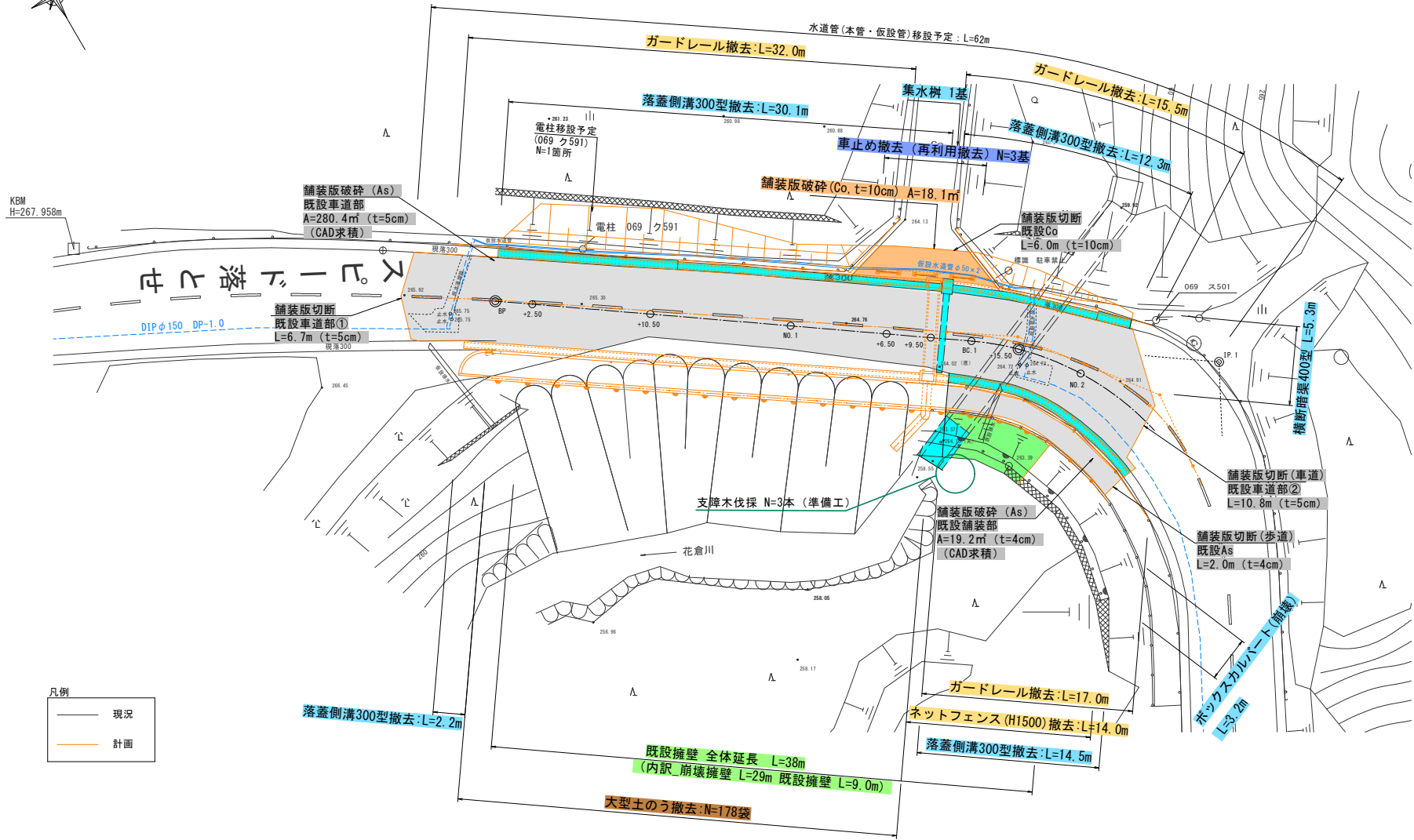


※使用する2次製品は、設計図と同等品以上とし、監督員の承認を得ること。

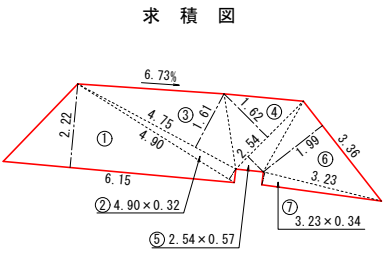
工事名	西宮上ノ原線災害復旧工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業 (現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	防護柵工 構造図	S=図示	
図面番号	全 32 の 31	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

構造物等撤去工図 S=1:200

平面図 S=1:200



舗装版破碎 (Co, t=10cm) S=1:100

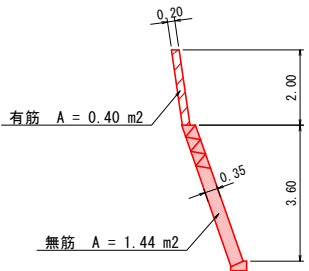


記号	底辺	高さ	倍面積 m2
1	6.15	2.22	13.7
2	4.90	0.32	1.6
3	4.75	1.61	7.6
4	2.54	1.62	4.1
5	2.54	0.57	1.4
6	3.36	1.99	6.7
7	3.23	0.34	1.1
倍面積 m2			36.2
面積 m2			18.1

Co(無筋, t=10cm) V= 18.1×0.10 = 1.81 m3

既設擁壁 S=1:100

撤去延長 L = 38 m

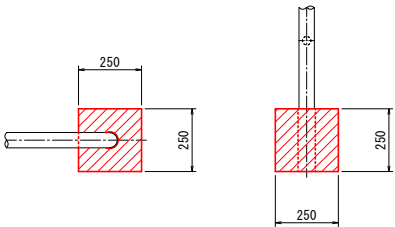


全体数量 (崩壊擁壁含む) _Co(有筋) V = 0.40×38 = 15.20 m3
(構造取壊し工 V = 0.40×9.0 = 3.60m3)
(般積込 V = 0.40×29.0 = 11.60m3)

全体数量 (崩壊擁壁含む) _Co(無筋) V = 1.44×38 = 54.72 m3
(構造取壊し工 V = 1.44×9.0 = 12.96m3)
(般積込 V = 1.44×29.0 = 41.76m3)

車止め基礎 S=1:15

撤去N = 6箇所



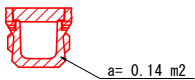
Co(無筋) V = 0.25×0.25×0.25×6 = 0.09 m3

現場発生品運搬搬

名称	規格	計算式	数量	単位
ガードレール	Gr-C-4E 参考重量 16kg/m	16kg/m×64.5	=1032	1.032 t
ネットフェンス	H=1.5m, 忍返付 参考重量 10.3kg/m	10.3kg/m×14	=144.2	0.144 t
車止め	参考重量 14.8kg/基	14.8kg/基×3	=44.4	0.044 t

落蓋側溝300型 S=1:30

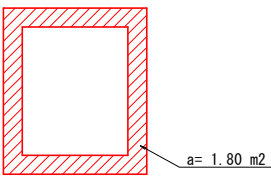
撤去延長L = 30.1+12.3+2.2+14.5 = 59.1 m



Co(有筋) V = 59.1×0.14 = 8.27 m3

ボックスカルバート S=1:50

崩壊延長 L = 3.2 m



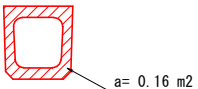
Co(有筋) V = 3.2×1.80 = 5.76 m3

舗装版切断延長 L = 6.7+10.8 = 17.5 m

ガードレール撤去延長 L = 32.0+15.5+17.0 = 64.5 m

横断暗渠400型 S=1:30

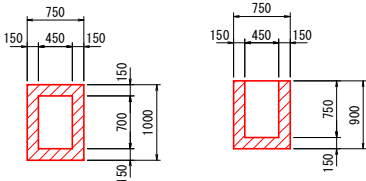
撤去延長L = 5.3 m



Co(有筋) V = 5.3×0.16 = 0.85 m3

集水樹 S=1:50

撤去N = 1箇所



Co(無筋) V = 0.75×1.00×0.90-0.45×0.70×0.75 = 0.44 m3

数量総括表

工種	種目	規格	単位	数量
取壊・撤去工	舗装版破碎	車道As, t=5cm	m2	280.4
		歩道As, t=4cm	m2	19.2
		既設Co, t=10cm	m2	18.1
	舗装切断	車道As, t=5cm	m	17.5
		歩道As, t=4cm	m	2.0
		Co, t=10cm	m	6.0
	落蓋側溝300型撤去	Co(有筋)	m3	8.27
	横断暗渠400型撤去	Co(有筋)	m3	0.85
	ボックスカルバート取壊	Co(有筋)	m3	5.76
	集水樹取壊	Co(無筋)	m3	0.44
	車止め基礎撤去	Co(無筋)	m3	0.09
	既設擁壁取壊	Co(有筋)	m3	15.20
	既設擁壁取壊	Co(無筋)	m3	54.72
	ガードレール撤去 参考重量 16kg/m	土中用	m	64.5
撤去土	ネットフェンス撤去 参考重量 10.3kg/m	H=1.5m, 忍返付	m	14.0
	大型土のう撤去		袋	178
	電柱移設	九電069ク591	箇所	1
	水道管移設予定	本管・仮設管	m	62

構造物取壊し工

名称	規格	計算式	数量	単位
鉄筋コンクリート		8.27+0.85+3.60	=12.72	12.7 m3
無筋コンクリート		0.44+0.09+12.96	=13.49	13.5 m3

構造物全体撤去数量

名称	規格	計算式	数量	単位
鉄筋コンクリート		8.27+0.85+5.76+15.20	=30.08	30.1 m3
無筋コンクリート		0.44+0.09+54.72	=55.25	55.3 m3

般積込 (崩壊擁壁)

名称	規格	計算式	数量	単位
鉄筋・無筋コンクリート		11.60+41.76	=53.36	53.4 m3

大型土のう撤去

名称	規格	計算式	数量	単位
大型土のう	1t型	178	=178	178 袋
大型土のう土砂	地山土量換算	178/1.2	=148.33	148.3 m3

工事名	西昔上ノ原線災害復旧工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業(現年災・道路部)		
工事場所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	構造物等撤去工図 S=図示		
図面番号	全 32 の 32	作成年月	令和7年4月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			